

**【ご家族様】**  
**山梨県子ども計画策定に係るアンケート調査**  
**報告書**

**株式会社ベルキャリアール**

**令和6年3月8日**



## 目次

I. 調査概要	6
1. 調査目的	6
2. 調査設計	6
3. 回収結果	6
II. 調査結果	7
01～03. 発送数・回答数・有効回答数	7
04. この調査にご回答いただく方	8
05. お住いの市町村	8
06. お住いの市町村の在住年数	8
07. 配偶関係	9
08. 世帯構成	9
09. 父親の年齢	9
10. 母親の年齢	10
11. 世帯の年間所得額	10
12. 世帯構成×世帯の年間所得額	11
13. 子どもの人数	13
14. 18歳未満の子どもの人数	13
15. 子どもの年齢	13
16. 多胎児の有無	13
17. 等価可処分所得	14
18. 相対的貧困状況	14
19. 相対的貧困状況×世帯構成	15
20. 相対的貧困状況×子どもの人数	15
21. 子どもの相対的貧困率	16
22. 父親の仕事	16
23. 母親の仕事	16
24. 父親の土日祝日の仕事×母親の土日祝日の仕事	17
25. 父親の18時以降の仕事状況×母親の18時以降の仕事状況	18
26. 父親の育休状況×父親の仕事	19
27. 母親の育休状況×母親の仕事	20

28. 母親の仕事（回答別3項目） 母親の育休状況×子どもの人数	21
29. 子どもの人数の希望実現状況	23
30. 子どもの人数が希望の人数になっていない理由	24
31. 男性の育休取得について×父親の仕事	24
32. 男性の育休取得に期待していない理由×父親の仕事	25
33. 育児の分担状況	25
34. 家事の分担状況	26
35. 育児の分担状況×家事の分担状況	26
36. 父親の育休状況×育児の分担状況	27
37. 父親の育休状況×家事の分担状況	27
38. 配偶者以外からの子育て支援	28
39. 配偶者以外からの子育て支援の内容	28
40. 1か月あたりの食費	29
41. 1か月あたりの食費×世帯人数	29
42. 要看護・介護者の有無	30
43. 子育てのしやすさの評価	30
44. 子育てのしやすさの足りないところ	30
45. 結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援の評価	30
46. 子ども・子育てについて社会全体から支えられているかの評価	31
47. 子ども・子育てについて社会全体から支えられるために必要なこと	31
48. 子どもが十分能力を伸ばせる環境かの評価	32
49. 子どもが十分能力を伸ばせる環境に必要なこと	32
50. 子育ての中で感じる楽しさの評価	33
51. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価	33
52. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価×多胎児の有無	33
53. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価×要看護・介護者の有無	34
54. 子育ての中で感じる負担・辛さの理由	34
55. 希望時期からの保育園利用状況	35
56. 利用した保育園の希望状況と満足度	35
57. 第一希望以外への入所についての不満	36

58. レスパイトの利用希望×お住いの市町村	36
59. レスパイトの利用希望×末子の年齢	37
60. レスパイトの利用希望（回答別） 父親の18時以降の仕事状況×母親の18時以降の仕事状況	38
61. レスパイトの利用希望年齢	41
62. レスパイトの利用を希望しない理由	42
63. ベビーシッターの利用希望	43
64. ベビーシッターの利用希望×末子の年齢	43
65. ベビーシッターの利用希望（回答別） 父親の18時以降の仕事状況×母親の18時以降の仕事状況	44
66. ベビーシッターの利用希望年齢	47
67. ベビーシッターの利用を希望しない理由	48
68. 子育てについて気軽に相談できる相手の有無	49
69. 子育てについて気軽に相談できる相手	49
70. 子どもに体験させてきたもの×世帯の年間所得額	50
71. 子どもに体験させてきたもの×世帯構成	51
72. 子どもに体験させてきたもの×子どもの人数	52
73. 実現が難しいと思っている体験の有無×世帯の年間所得額	53
74. 実現が難しいと思っている体験の有無×世帯構成	54
75. 実現が難しいと思っている体験の有無×子どもの人数	54
76. 実現が難しいと思っている体験の有無（回答別） 父親の土日祝日の仕事×母親の土日祝日の仕事	55
77. 実現が難しいと思っている体験×世帯の年間所得額	57
78. 実現が難しいと思っている体験×世帯構成	58
79. 実現が難しいと思っている体験×子どもの人数	59
80. 実現が難しいと思っている理由×世帯の年間所得額	60
81. 体験の実現が難しいと思っている理由×お住まいの市町村	61
82. 希望する子供の最終学歴×世帯の年間所得額	62
83. 希望する子供の最終学歴×子どもの人数	63
84. 子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無×世帯の年間所得額	64
85. 子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無×子どもの人数	65
86. 子供の希望最終学歴を実現するための課題×世帯の年間所得額	66

87. 子供の希望最終学歴を実現するための課題×子どもの人数 .....	67
88. 知っている公的支援制度 .....	68
89. 使ったことのある公的支援制度 .....	69
90. 使ったことのある公的支援制度の満足度 .....	70
91. 不満を感じた公的支援制度 .....	70

# I. 調査概要

## 1. 調査目的

令和5年4月1日から施行された「こども基本法」に基づき山梨県子ども計画を策定するにあたり、県内の子育て世帯が抱える困りごとや希望する支援策を把握し、今後の子育て支援策を展開するための調査を行う。

## 2. 調査設計

- (1) 調査地域 山梨県全域(全27市町村対象)
- (2) 調査対象 山梨県在住の18歳以下(令和5年12月1日時点)のお子様をお持ちの保護者様
- (3) 標本数 4,500人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査(インターネット回答)
- (6) 調査期間 令和5年12月25日(月)～令和5年1月15日(月)

## 3. 回収結果

- (1) 発送数 4,500人 (100.0%)
- (2) 回収数 2,376人 (52.8%)
- (3) 有効回答数 2,369人 (52.6%)

(報告書を読む際の注意事項)

- ・結果は百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入している。このため百分率の合計が100%にならないことがある。
- ・数値やグラフ中の「n」は回答者総数を示し、回答比率はこれを100%として算出している。
- ・複数回答をしてもよい設問では、百分率の合計が100%を超える場合がある。
- ・回答数が10件未満の場合は参考値とする。

## Ⅱ. 調査結果

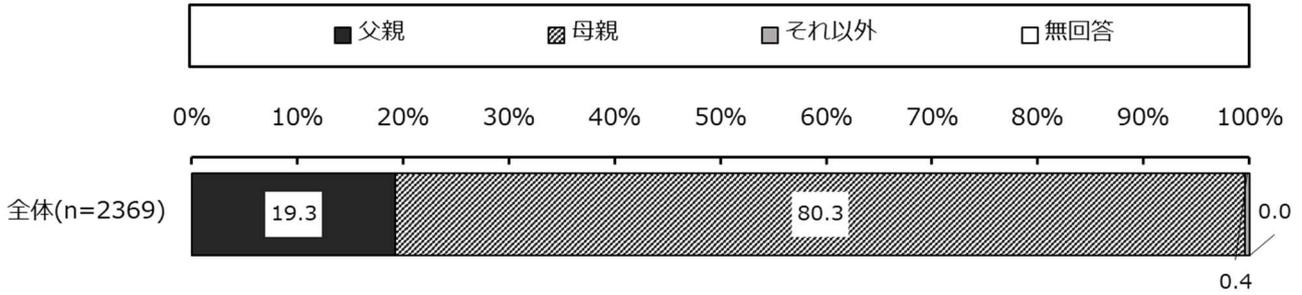
### 01～03. 発送数・回答数・有効回答数

	発送数	
	実数	構成比
甲府市	838	18.6%
富士吉田市	210	4.7%
都留市	134	3.0%
山梨市	147	3.3%
大月市	106	2.4%
韮崎市	120	2.7%
南アルプス市	361	8.0%
北杜市	170	3.8%
甲斐市	408	9.1%
笛吹市	307	6.8%
上野原市	100	2.2%
甲州市	123	2.7%
中央市	147	3.3%
市川三郷町	105	2.3%
早川町	72	1.6%
身延町	106	2.4%
南部町	100	2.2%
富士川町	105	2.3%
昭和町	126	2.8%
道志村	100	2.2%
西桂町	107	2.4%
忍野村	100	2.2%
山中湖村	103	2.3%
鳴沢村	108	2.4%
富士河口湖町	106	2.4%
小菅村	48	1.1%
丹波山村	43	1.0%
無回答	-	-
合計	4,500	100.0%

	回収数	
	実数	回収率
	446	9.9%
	107	2.4%
	66	1.5%
	88	2.0%
	51	1.1%
	57	1.3%
	218	4.8%
	84	1.9%
	240	5.3%
	162	3.6%
	46	1.0%
	69	1.5%
	67	1.5%
	53	1.2%
	21	0.5%
	62	1.4%
	49	1.1%
	52	1.2%
	63	1.4%
	37	0.8%
	48	1.1%
	54	1.2%
	59	1.3%
	66	1.5%
	70	1.6%
	20	0.4%
	11	0.2%
	10	0.2%
	2,376	52.8%

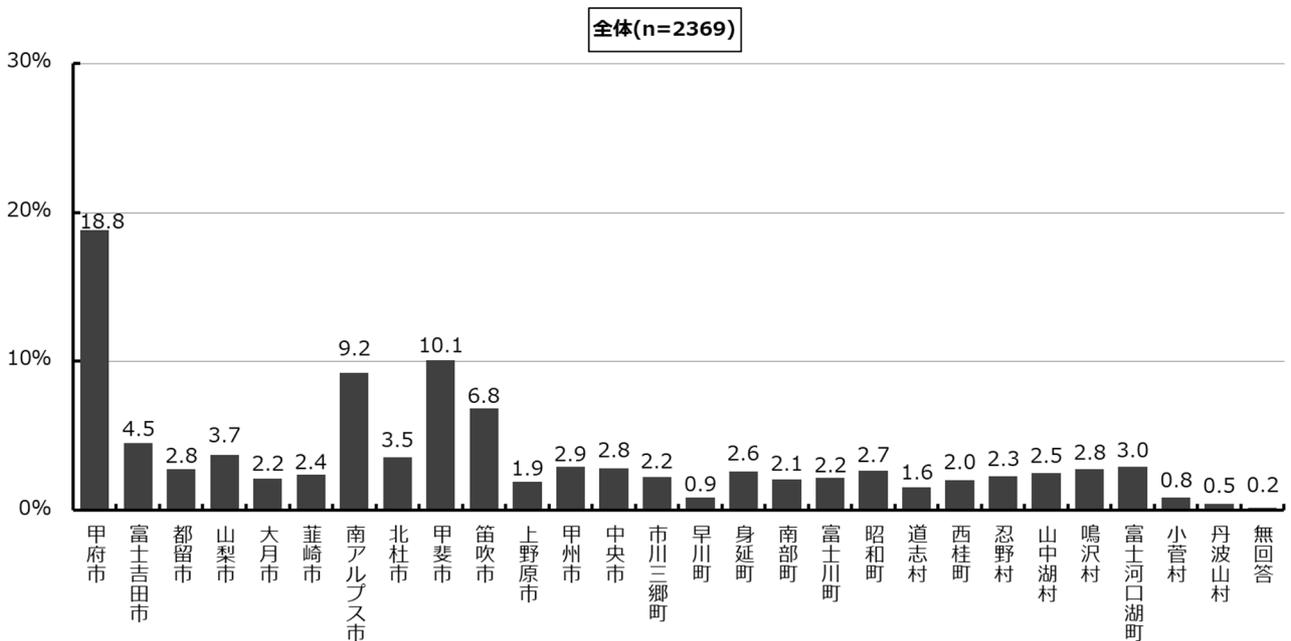
	有効回答数	
	実数	構成比
	446	18.8%
	107	4.5%
	66	2.8%
	88	3.7%
	51	2.2%
	57	2.4%
	218	9.2%
	84	3.5%
	239	10.1%
	162	6.8%
	46	1.9%
	69	2.9%
	67	2.8%
	53	2.2%
	21	0.9%
	62	2.6%
	49	2.1%
	52	2.2%
	63	2.7%
	37	1.6%
	48	2.0%
	54	2.3%
	59	2.5%
	66	2.8%
	70	3.0%
	20	0.8%
	11	0.5%
	4	0.2%
	2,369	100.0%

#### 04. この調査にご回答いただく方



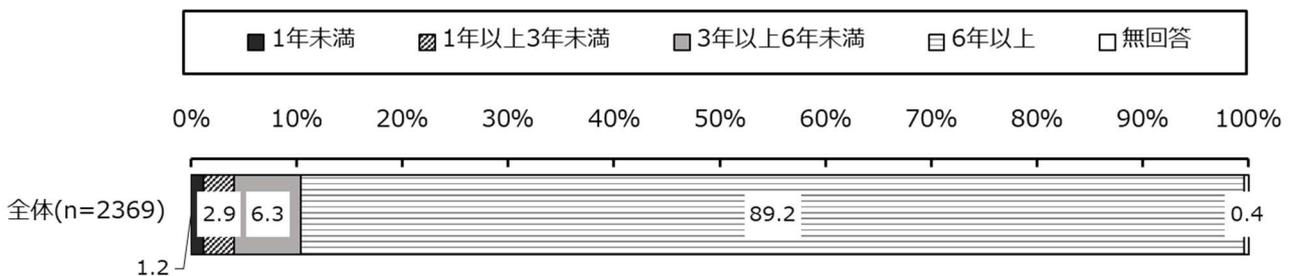
回答者は、「母親」が80.3%であり、「父親」が19.3%である。

#### 05. お住いの市町村



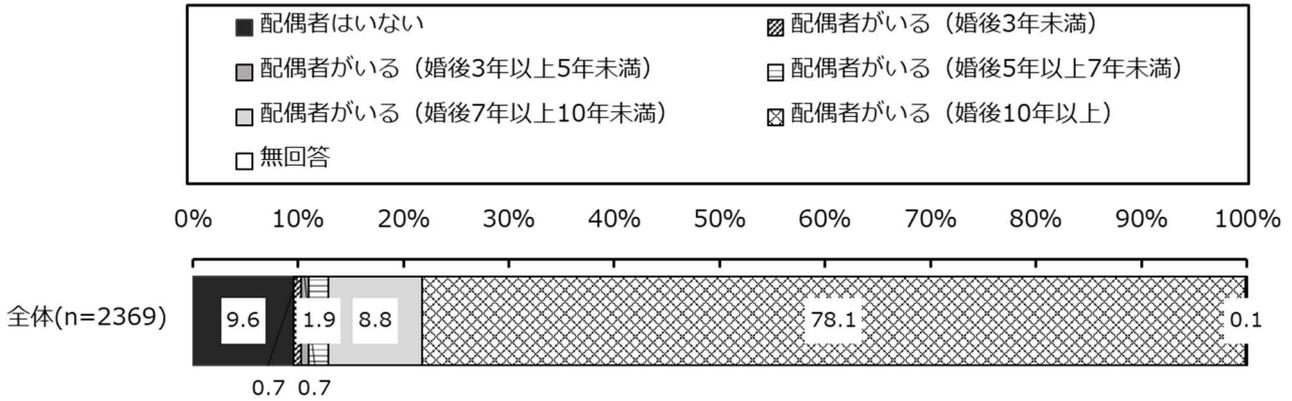
お住まいの市町村は、「甲府市」が18.8%と最も高く、次いで「甲斐市」10.1%、「南アルプス市」9.2%と続いている。

#### 06. お住いの市町村の在住年数



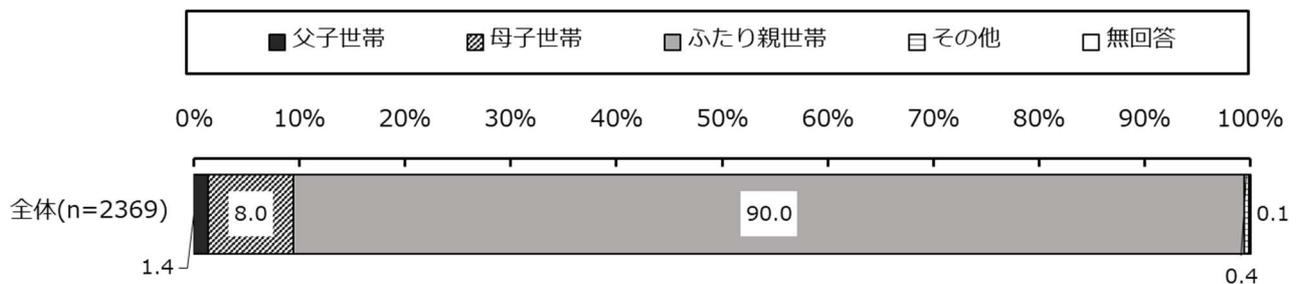
お住まいの市町村での在住期間は、「6年以上」が89.2%と最も高く、次いで「3年以上6年未満」6.3%、「1年以上3年未満」2.9%と続いている。

## 07. 配偶関係



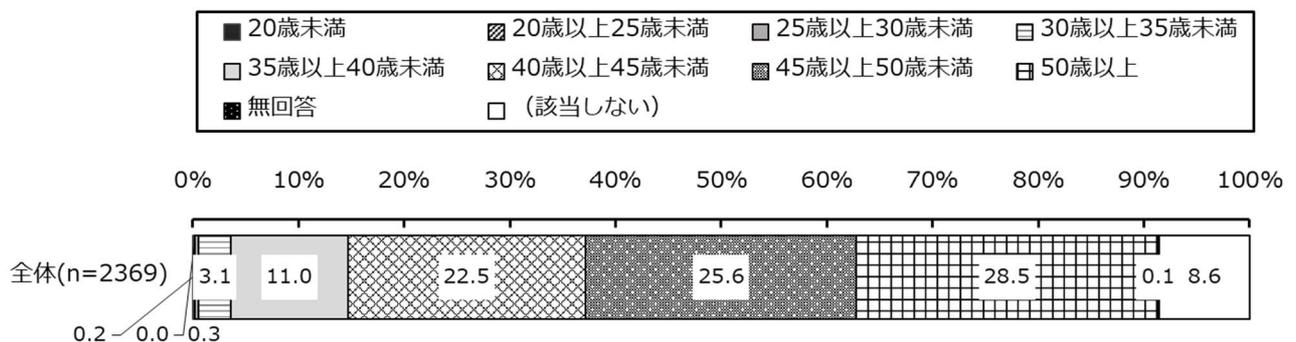
配偶者の有無、またその婚姻期間は、「配偶者がいる（婚後10年以上）」が78.1%と最も高く、次いで「配偶者はいない」9.6%、「配偶者がいる（婚後7年以上10年未満）」8.8%と続いている。

## 08. 世帯構成



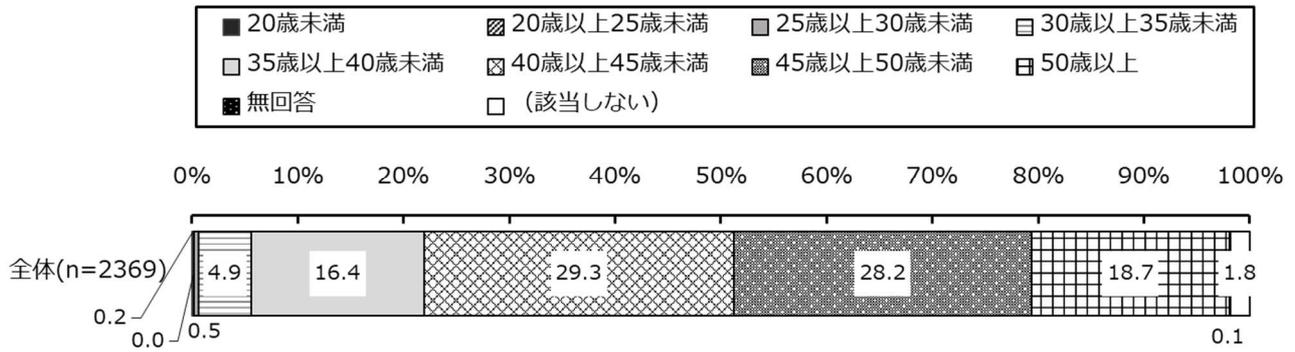
世帯構成は、「ふたり親世帯」が90.0%と最も高く、次いで「母子世帯」8.0%、「父子世帯」1.4%と続いている。

## 09. 父親の年齢



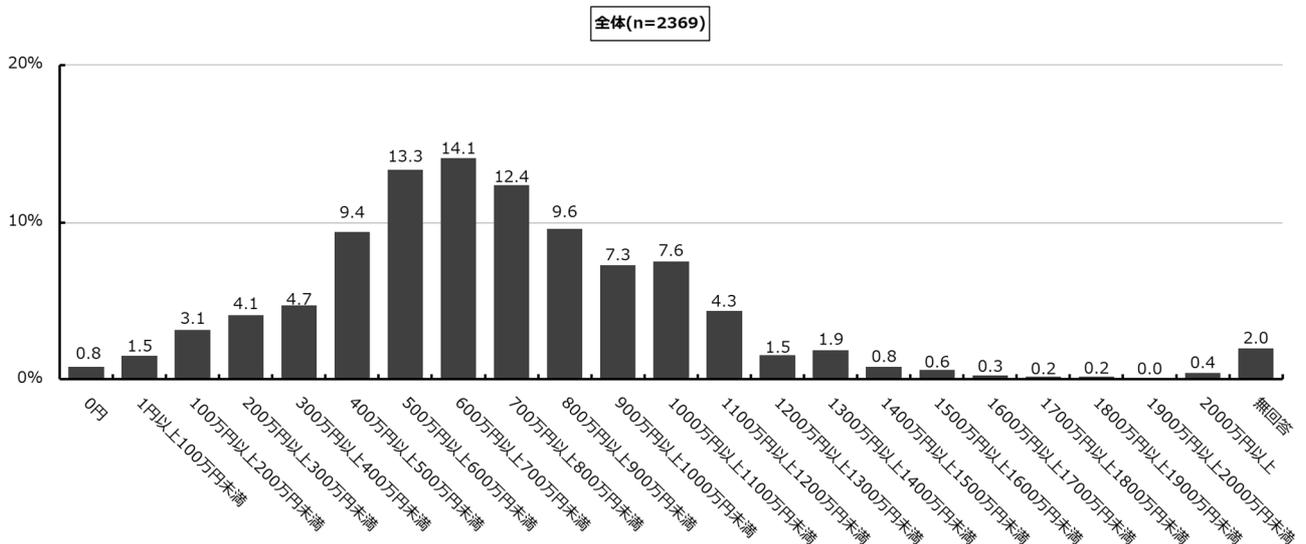
父親の年齢は、「50歳以上」が28.5%と最も高く、次いで「45歳以上50歳未満」25.6%、「40歳以上45歳未満」22.5%と続いている。

## 10. 母親の年齢



母親の年齢は、「40歳以上45歳未満」が29.3%と最も高く、次いで「45歳以上50歳未満」28.2%、「50歳以上」18.7%と続いている。

## 11. 世帯の年間所得額



世帯の年間所得額は、「600万円以上700万円未満」が14.1%と最も高く、次いで「500万円以上600万円未満」13.3%、「700万円以上800万円未満」12.4%と続いている。

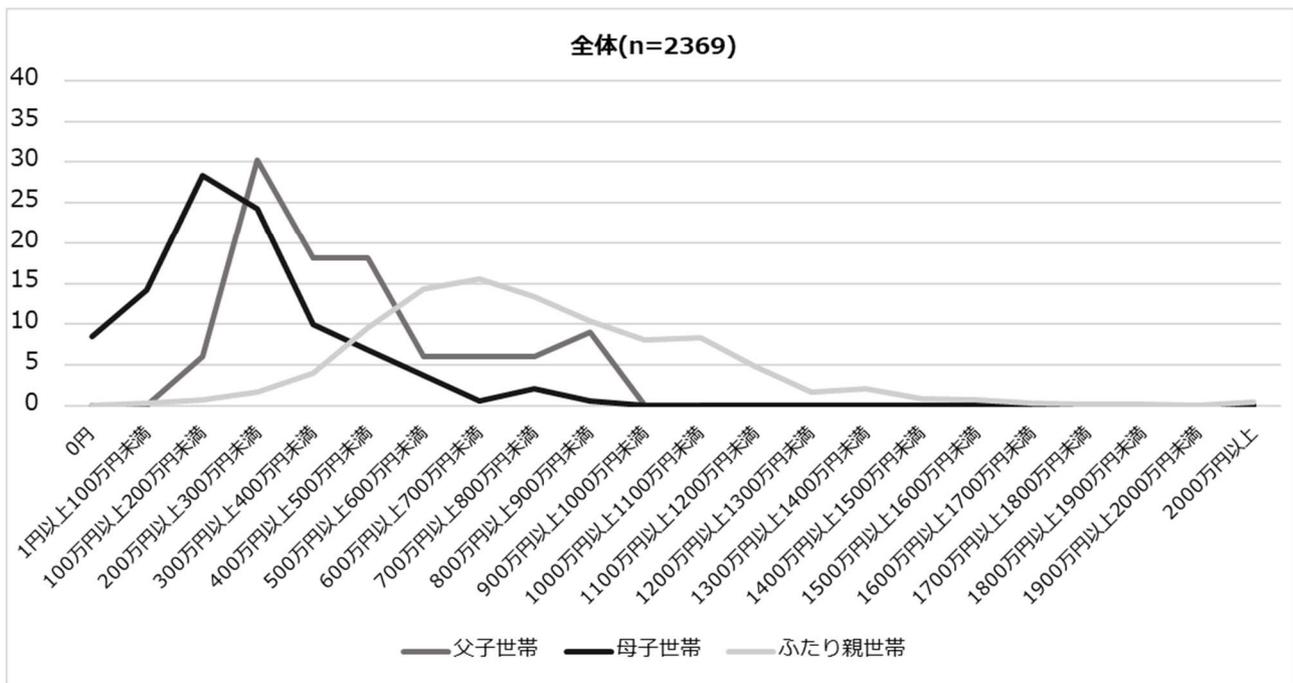
※「回答者の年間所得」と「配偶者の年間所得」からそれぞれ階級値をとり、それを合計し算出。

このとき、回答が「1000万円以上」であった回答は、「1000万円」として計算している。

## 12. 世帯構成×世帯の年間所得額

		調査数	0円	1円以上100万円未満	100万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満	700万円以上800万円未満	800万円以上900万円未満	900万円以上1000万円未満
全体		2369	0.8	1.5	3.1	4.1	4.7	9.4	13.3	14.1	12.4	9.6	7.3
世帯構成	父子世帯	33	0.0	0.0	6.1	30.3	18.2	18.2	6.1	6.1	6.1	9.1	0.0
	母子世帯	190	8.4	14.2	28.4	24.2	10.0	6.8	3.7	0.5	2.1	0.5	0.0
	ふたり親世帯	2133	0.1	0.3	0.8	1.7	4.0	9.5	14.3	15.5	13.4	10.5	8.1
	その他	10	10.0	10.0	20.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	無回答	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

		調査数	1000万円以上1100万円未満	1100万円以上1200万円未満	1200万円以上1300万円未満	1300万円以上1400万円未満	1400万円以上1500万円未満	1500万円以上1600万円未満	1600万円以上1700万円未満	1700万円以上1800万円未満	1800万円以上1900万円未満	1900万円以上2000万円未満	2000万円以上	無回答
全体		2369	7.6	4.3	1.5	1.9	0.8	0.6	0.3	0.2	0.2	0.0	0.4	2.0
世帯構成	父子世帯	33	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	母子世帯	190	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
	ふたり親世帯	2133	8.4	4.8	1.7	2.1	0.9	0.7	0.3	0.2	0.2	0.0	0.5	2.1
	その他	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



父子世帯では、「200万円以上300万円未満」から「400万円以上500万円未満」に集中しており、そのピークは「200万円以上300万円未満」の30.3%となっている。

母子世帯では「1円以上100万円未満」から「300万円以上400万円未満」に集中し、そのピークは「100万円以上200万円未満」の28.4%となっている。

ふたり親世帯では、「400万円以上500万円未満」から「800万円以上900万円未満」に集中しており、「600万円以上700万円未満」が15.5%と最も高くなっているが、大きな差は見られない。

※個人の年間所得額の最高額は「1000万円」であるので、「1000万円」から「2000万円以上」に該当するのはすべて「ふたり親世帯」である。

### 13. 子どもの人数

	調査数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	無回答
全体	2369	14.2	50.4	28.7	4.7	1.1	0.3	0.4	0.0	0.1

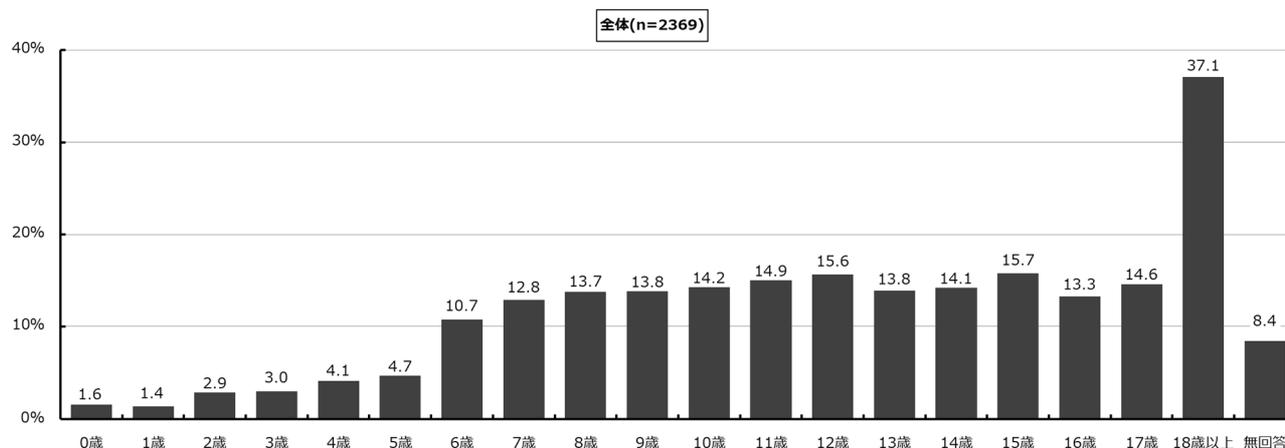
子どもの人数は、「2人」が50.4%と最も高く、次いで「3人」28.7%、「1人」14.2%と続いている。

### 14. 18歳未満の子どもの人数

	調査数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	無回答
全体	2369	5.0	27.8	45.4	18.1	2.5	0.4	0.8

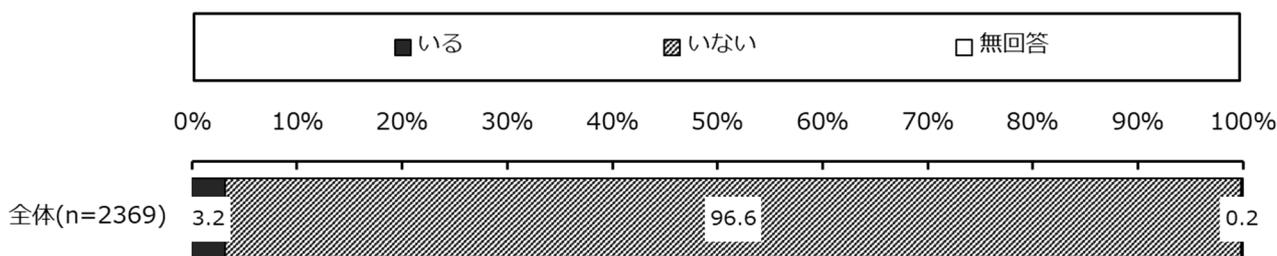
18歳未満の子どもの人数は、「2人」が45.4%と最も高く、次いで「1人」27.8%、「3人」18.1%と続いている。

### 15. 子どもの年齢



子どもの年齢は、「18歳以上」が37.1%と最も高く、次いで「15歳」15.7%、「12歳」15.6%と続いている。

### 16. 多胎児の有無



多胎児の有無については、「いない」が96.6%、「いる」が3.2%である。

## 17. 等価可処分所得

※等価可処分所得：世帯の年間可処分所得（いわゆる手取り収入）を世帯人員で調整したものである。

（「世帯の年間所得額」を「世帯人数」の平方根で割ったもの）

	調査数	0円	1円以上 10万円未満	10万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 40万円未満	40万円以上 50万円未満	50万円以上 60万円未満	60万円以上 70万円未満	70万円以上 80万円未満	80万円以上 90万円未満	90万円以上 100万円未満	100万円以上	無回答
全体	2369	0.8	3.2	9.8	24.4	21.7	18.7	10.5	4.3	2.0	1.1	0.1	0.3	3.2

等価可処分所得は、「200万円以上300万円未満」が24.4%と最も高く、次いで「300万円以上400万円未満」21.7%、「400万円以上500万円未満」18.7%と続いている。

## 18. 相対的貧困状況

	調査数	貧困線に満たない世帯	貧困線以上の世帯	その他	無回答
全体	2369	10.7	86.7	2.5	0.0

相対的貧困状況は、「貧困線以上の世帯」が86.7%、「貧困線に満たない世帯」が10.7%である。

相対的貧困状況は、今回の調査結果から導いた「等価可処分所得」の中央値の半分である156.5万円を判断基準（貧困線）として判断している。

※参考：「2022(令和4)年 国民生活基礎調査の結果」では、2021(令和3)年の貧困線（等価可処分所得の中央値の半分）は127万円を判断基準（貧困線）としている。

## 19. 相対的貧困状況×世帯構成

		調査数	貧困線に満たない世帯	貧困線以上の世帯	その他	無回答
全 体		2369	10.7	86.7	2.5	0.0
世帯構成	父子世帯	33	27.3	72.7	0.0	0.0
	母子世帯	190	67.9	31.1	1.1	0.0
	ふたり親世帯	2133	5.4	92.5	2.2	0.0
	その他	10	10.0	0.0	90.0	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	100.0	0.0

世帯構成別では、「貧困線に満たない世帯」に絞ると、母子世帯の67.9%が最も高く、次いで父子世帯27.3%、ふたり親世帯5.4%である。

## 20. 相対的貧困状況×子どもの人数

		調査数	貧困線に満たない世帯	貧困線以上の世帯	その他	無回答
全 体		2369	10.7	86.7	2.5	0.0
子どもの人数	1人	337	15.1	81.9	3.0	0.0
	2人	1193	10.6	87.1	2.3	0.0
	3人	681	7.2	90.7	2.1	0.0
	4人	111	11.7	82.0	6.3	0.0
	5人	27	29.6	70.4	0.0	0.0
	6人	7	28.6	71.4	0.0	0.0
	7人	9	33.3	66.7	0.0	0.0
	8人	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答	3	33.3	0.0	66.7	0.0

子どもの人数別では、「貧困線に満たない世帯」に絞ると、5人の29.6%が最も高く、次いで1人の15.1%、4人の11.7%、2人の10.6%と続いている。

## 2 1. 子どもの相対的貧困率

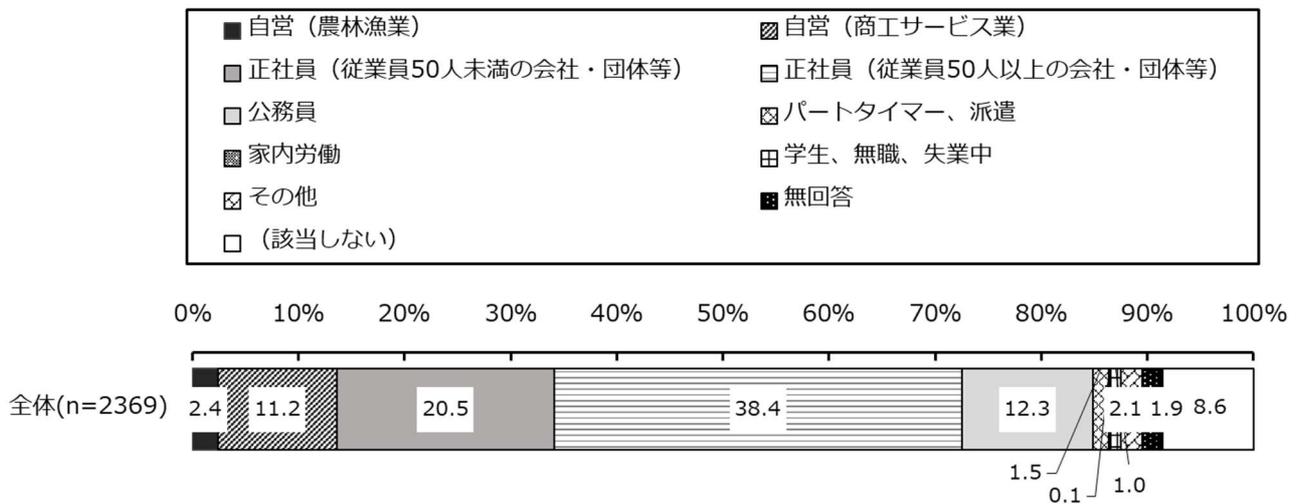
※子どもの相対的貧困率：相対的貧困（一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合。）の状態にある18歳未満の子どもの割合を指す。

（「貧困世帯の子ども数」を「18歳未満の子ども数」で割り、パーセントに直したもの）

18歳未満の子ども数	4383
貧困世帯の子ども数	436
こどもの相対的貧困率	9.95

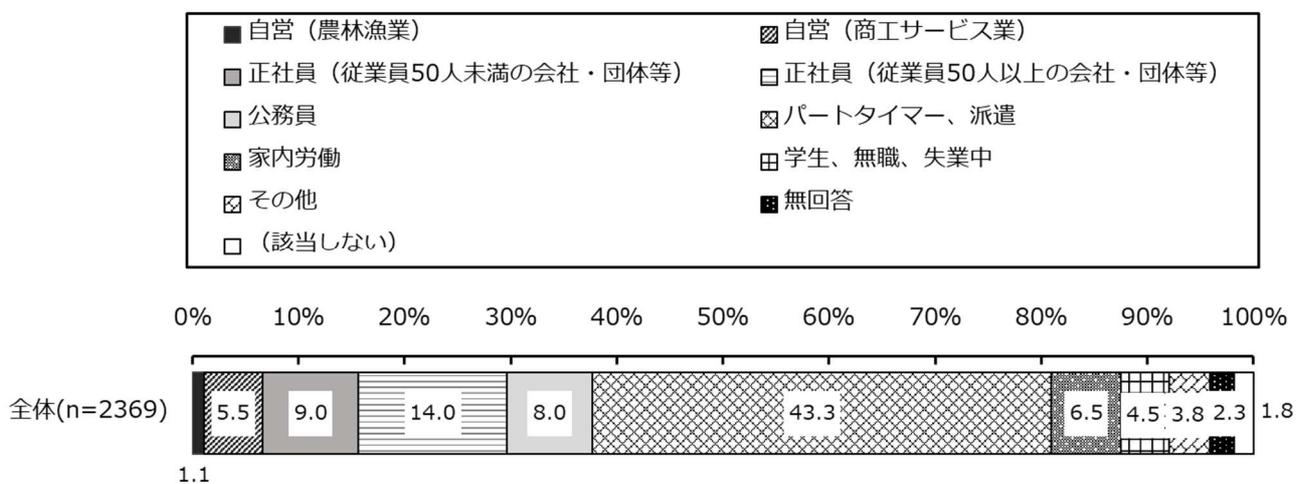
子どもの相対的貧困率は、18歳未満の子ども数4,383人と貧困線に満たない世帯の子ども数436人から、9.95%となった。

## 2 2. 父親の仕事



父親の仕事は、「正社員（従業員50人以上の会社・団体等）」が38.4%と最も高く、次いで「正社員（従業員50人未満の会社・団体等）」20.5%、「公務員」12.3%と続いている。

## 2 3. 母親の仕事



母親の仕事は、「パートタイマー、派遣」が43.3%と最も高く、次いで「正社員（従業員50人以上の会社・団体等）」14.0%、「正社員（従業員50人未満の会社・団体等）」9.0%と続いている。

## 24. 父親の土日祝日の仕事×母親の土日祝日の仕事

(分布表記)

		父親の土日祝日の仕事							
		全体	ほぼない (10%未満)	(あまりない 10%以上 40%未満)	(時々ある 40%以上 60%未満)	(かなりある 60%以上 90%未満)	ほぼある (90%以上)	無回答	(該当しない)
母親の 土日祝日の 仕事	全体	100.0	523	312	448	362	401	3	320
	ほぼない (10%未満)	965	11.3	5.5	7.6	5.7	6.5	0.1	4.1
	あまりない (10%以上40%未満)	226	2.0	1.8	1.9	1.6	1.5	0.0	0.8
	時々ある (40%以上60%未満)	426	3.1	2.4	4.1	3.2	2.7	0.0	2.5
	かなりある (60%以上90%未満)	218	1.6	1.0	1.6	2.0	1.6	0.0	1.4
	ほぼある (90%以上)	232	1.5	1.0	1.5	1.3	3.1	0.0	1.5
	無回答	6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(該当しない)	296	2.6	1.4	2.3	1.4	1.6	0.0	3.3

父親と母親の土日祝日の出勤状況を掛け合わせたところ、父親の「ほぼない (10%未満)」×母親の「ほぼない (10%未満)」が11.3%と最も高く、次いで父親の「時々ある (40%以上60%未満)」×母親の「ほぼない (10%未満)」7.6%、父親の「ほぼある (90%以上)」×母親の「ほぼない (10%未満)」6.5%と続いている。

## 25. 父親の18時以降の仕事状況×母親の18時以降の仕事状況

(分布表記)

		父親の18時以降の仕事状況							
		全体	ほぼない (10%未満)	(あまりない 10%以上 40%未満)	(時々ある 40%以上 60%未満)	(かなりある 60%以上 90%未満)	ほぼある (90%以上)	無回答	(該当しない)
母親の 18時 以降の 仕事	全体	100.0	283	233	431	375	721	6	320
	ほぼない (10%未満)	1250	7.5	5.7	9.5	8.7	15.4	0.2	5.7
	あまりない (10%以上40%未満)	208	0.9	1.4	1.9	1.3	2.4	0.0	0.8
	時々ある (40%以上60%未満)	280	0.9	1.0	2.9	1.9	3.6	0.0	1.6
	かなりある (60%以上90%未満)	172	0.8	0.6	1.3	1.6	1.9	0.0	1.1
	ほぼある (90%以上)	156	0.5	0.4	0.6	0.5	3.6	0.0	1.0
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
	(該当しない)	296	1.4	0.8	1.9	1.6	3.5	0.0	3.3

父親と母親の18時以降の出勤状況を掛け合わせたところ、父親の「ほぼある (90%以上)」×母親の「ほぼない (10%未満)」が15.4%と最も高く、次いで父親の「時々ある (40%以上60%未満)」×母親の「ほぼない (10%未満)」9.5%、父親の「かなりある (60%以上90%未満)」×母親の「ほぼない (10%未満)」8.7%と続いている。

## 26. 父親の育休状況×父親の仕事

		調査数	なし	1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上	無回答
全体		2166	92.5	5.0	0.9	0.4	0.1	0.4	0.0	0.1	0.5
父親の仕事	自営（農林漁業）	57	98.2	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営（商工サービス業）	265	96.2	3.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	正社員（従業員50人未満の会社・団体等）	486	96.5	1.6	0.4	0.6	0.2	0.4	0.0	0.2	0.0
	正社員（従業員50人以上の会社・団体等）	910	92.3	5.6	1.1	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.0
	公務員	292	84.6	12.0	1.4	1.0	0.0	0.7	0.0	0.3	0.0
	パートタイマー、派遣	36	94.4	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家内労働	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生、無職、失業中	23	87.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	その他	49	93.9	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1
	無回答	45	75.6	4.4	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	17.8

父親の育休状況は、「なし」が92.5%と最も高く、次いで「1か月未満」5.0%と続いている。「1か月未満」から「3年以上」を合算すると7.0%である。

父親の仕事別では、「なし」を除き、「1か月未満」から「3年以上」を合算すると、公務員が15.4%と最も高く、次いで学生、無職、失業中の8.7%、正社員（従業員50人以上の会社・団体等）の7.7%と続いている。正社員（従業員50人未満の会社・団体等）3.5%と正社員（従業員50人以上の会社・団体等）7.7%であり、その差は4.2ポイントである。

## 27. 母親の育休状況×母親の仕事

	調査数	なし	1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上	無回答	
全体	2326	48.0	2.2	2.9	2.6	9.7	13.5	8.5	10.2	2.5	
母親の仕事	自営（農林漁業）	26	61.5	3.8	7.7	0.0	7.7	3.8	0.0	15.4	0.0
	自営（商工サービス業）	131	50.4	6.9	7.6	9.2	6.1	8.4	2.3	8.4	0.8
	正社員（従業員50人未満の会社・団体等）	214	36.0	2.8	5.6	4.7	18.7	23.4	4.2	4.2	0.5
	正社員（従業員50人以上の会社・団体等）	332	22.0	0.9	2.4	2.7	19.9	27.4	15.7	8.4	0.6
	公務員	190	13.2	1.1	0.5	2.1	8.4	21.6	21.1	32.1	0.0
	パートタイマー、派遣	1025	57.5	2.1	2.9	2.3	7.8	9.6	7.0	9.7	1.1
	家内労働	155	74.2	3.9	1.9	0.6	3.2	3.2	5.2	5.8	1.9
	学生、無職、失業中	107	82.2	0.0	0.0	0.0	0.9	6.5	6.5	2.8	0.9
	その他	91	60.4	2.2	0.0	1.1	7.7	8.8	7.7	12.1	0.0
	無回答	55	21.8	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	5.5	69.1

母親の育休状況は、「なし」が48.0%と最も高く、次いで「1年以上2年未満」13.5%、「3年以上」10.2%と続いている。「1か月未満」から「3年以上」を合算すると49.6%である。

母親の仕事別で、「なし」に絞ると、最も高いのが学生、無職、失業中の82.2%、最も低いのが公務員の13.2%であり、その差は69.0ポイントと大きく差が開いた。

「なし」を除くと、パートタイマー、派遣の「3年以上」が32.1%と最も高く、次いで正社員（従業員50人以上の会社・団体等）の「1年以上2年未満」27.4%、正社員（従業員50人未満の会社・団体等）の「1年以上2年未満」23.4%であり、職業によって制度の利用状況に差が出る結果となっている。

## 28. 母親の仕事（回答別3項目）

### 母親の育休状況×子どもの人数

#### ●母親の仕事（正社員（従業員50人未満の会社・団体等））

の（母親の仕事 会社・社員 ・団体等） （従業員50人未満）		調査数	なし	1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上	無回答
全 体		214	36.0	2.8	5.6	4.7	18.7	23.4	4.2	4.2	0.5
子どもの人数	1人	31	48.4	3.2	0.0	3.2	16.1	22.6	0.0	6.5	0.0
	2人	102	33.3	2.0	4.9	6.9	23.5	22.5	3.9	2.0	1.0
	3人	62	37.1	4.8	9.7	1.6	16.1	17.7	6.5	6.5	0.0
	4人	13	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	61.5	7.7	0.0	0.0
	5人	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	6人	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7人	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

母親の育休状況と子どもの人数の掛け合わせを正社員（従業員50人未満の会社・団体等）として働く方に絞ると、「なし」が36.0%と最も高く、次いで「1年以上2年未満」23.4%、「6か月以上1年未満」18.7%と続いている。

子どもの人数別では、「なし」に絞ると、1人が48.4%と最も高く、次いで3人の37.1%、2人の33.3%と続いている。

「なし」を除くと、4人の「1年以上2年未満」が61.5%と最も高く、次いで2人の「6か月以上1年未満」23.5%、1人の「1年以上2年未満」22.6%、2人の「1年以上2年未満」22.5%と続いている。子どもの人数にかかわらず2年以上の育休を取得した人は大きく減っている。

●母親の仕事（正社員（従業員50人以上の会社・団体等））

の（母 会社正親 ・社員 ・団体の 体等）仕事 （従業員 50人 以上）	調 査 数	な し	1 か 月 未 満	1 か 月 以 上 3 か 月 未 満	3 か 月 以 上 6 か 月 未 満	6 か 月 以 上 1 年 未 満	1 年 以 上 2 年 未 満	2 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上	無 回 答	
											全 体
全 体	332	22.0	0.9	2.4	2.7	19.9	27.4	15.7	8.4	0.6	
子 ど も の 人 数	1人	57	28.1	1.8	3.5	3.5	29.8	26.3	5.3	1.8	0.0
	2人	184	18.5	0.5	2.2	3.8	17.4	35.3	17.9	3.8	0.5
	3人	81	24.7	0.0	1.2	0.0	21.0	12.3	17.3	22.2	1.2
	4人	10	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0
	5人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

母親の育休状況と子どもの人数の掛け合わせを正社員（従業員50人以上の会社・団体等）として働く方に絞ると、「1年以上2年未満」が27.4%と最も高く、次いで「なし」22.0%、「6か月以上1年未満」19.9%と続いている。

子どもの人数別では、「なし」に絞ると、4人が30.0%と最も高く、次いで1人の28.1%、3人の24.7%と続いている。

「なし」を除くと、1人では「6か月以上1年未満」29.8%、2人では「1年以上2年未満」35.3%、3人では「3年以上」22.2%、4人では「2年以上3年未満」および「3年以上」が20.0%と最も高い。

正社員（従業員50人未満の会社・団体等）と比べると、2年以上の育休取得の割合が高く、より取得しやすい環境にあるとうかがえる。よって、育児休暇取得の要因は、子どもの人数より会社の整備によるものが大きいと考えられる。

●母親の仕事（公務員）

の（母 会正親 社社 ・員 団の 体等） （従 業員 50 人 以 上）	調 査 数	な し	1 か 月 未 満	1 か 月 以 上 3 か 月 未 満	3 か 月 以 上 6 か 月 未 満	6 か 月 以 上 1 年 未 満	1 年 以 上 2 年 未 満	2 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上	無 回 答	
											全 体
	190	13.2	1.1	0.5	2.1	8.4	21.6	21.1	32.1	0.0	
子 ど も の 人 数	1人	20	25.0	0.0	5.0	0.0	10.0	30.0	25.0	5.0	0.0
	2人	100	14.0	2.0	0.0	3.0	6.0	23.0	27.0	25.0	0.0
	3人	58	10.3	0.0	0.0	1.7	10.3	19.0	8.6	50.0	0.0
	4人	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0
	5人	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	6人	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	7人	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	8人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

母親の育休状況と子どもの人数の掛け合わせを公務員として働く方に絞ると、「3年以上」が32.1%と最も高く、次いで「1年以上2年未満」21.6%、「2年以上3年未満」21.1%と続いている。「1年以上2年未満」から「3年以上」を合算すると、74.7%となり、公務員として働く女性の7割以上が育休を1年以上取得していることがうかがえる。

子どもの人数別で、それぞれ割合が最も高かったものは、1人では「1年以上2年未満」30.0%、2人では「2年以上3年未満」27.0%、3人では「3年以上」50.0%となっている。

29. 子どもの人数の希望実現状況

	調 査 数	な っ て い る	な っ て い な い	無 回 答
全 体	2369	80.0	19.5	0.5

子どもの人数の希望実現状況は、「なっている」が80.0%、「なっていない」19.5%である。

### 30. 子どもの人数が希望の人数になっていない理由

	調査数	これから妊娠・出産予定のため	希望しているができないため（不妊のため）	身体的な負担に不安があるため	精神的な負担に不安があるため	経済的な負担に不安があるため	年齢的な不安があるため	健康上の理由があるため	仕事上の理由があるため	住宅事情があるため	看護、介護などの家庭事情があるため	配偶者が家事や育児に協力してくれないため	その他	無回答
全体	462	2.8	17.7	18.8	13.0	53.7	42.9	7.1	16.0	3.2	2.8	10.4	7.1	5.2

子どもの人数が希望の人数になっていない理由は、「経済的な負担に不安があるため」が53.7%と最も高く、次いで「年齢的な不安があるため」42.9%、「身体的な負担に不安があるため」18.8%と続いている。

### 31. 男性の育休取得について×父親の仕事

		調査数	とても期待している	どちらかと言うと期待している	どちらとも言えない	どちらかと言うと期待していない	全く期待していない	無回答
全体		2166	20.9	26.5	29.3	10.7	12.0	0.6
父親の仕事	自営（農林漁業）	57	21.1	22.8	24.6	14.0	14.0	3.5
	自営（商工サービス業）	265	18.9	22.6	29.8	10.9	17.4	0.4
	正社員（従業員50人未満の会社・団体等）	486	18.3	28.0	29.6	11.5	12.1	0.4
	正社員（従業員50人以上の会社・団体等）	910	22.3	26.5	29.5	10.4	10.9	0.4
	公務員	292	22.3	29.8	29.8	9.2	8.9	0.0
	パートタイマー、派遣	36	25.0	27.8	13.9	16.7	13.9	2.8
	家内労働	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	学生、無職、失業中	23	17.4	34.8	43.5	4.3	0.0	0.0
その他	49	28.6	14.3	32.7	8.2	14.3	2.0	
無回答	45	13.3	28.9	22.2	11.1	22.2	2.2	

男性の育休取得については、「どちらとも言えない」が29.3%と最も高く、次いで「どちらかと言うと期待している」26.5%、「とても期待している」20.9%と続いている。

父親の仕事別では、学生、無職、失業中の「どちらとも言えない」が43.5%と最も高く、次いで学生、無職、失業中の「どちらかと言うと期待している」34.8%と続いている。

### 3 2. 男性の育休取得に期待していない理由×父親の仕事

	調査数	や男性に気がないため	知識・技術がないため	男性が家事・育児のため	男性の職場の制度的に	男性の職場の人員的に	男性の職場の雰囲気的に	収入的に生活が厳しくなるため	その他	無回答
全体	492	31.3	26.8	38.6	38.2	31.9	45.7	7.9	3.3	
父親の仕事	自営（農林漁業）	16	50.0	25.0	25.0	18.8	6.3	25.0	6.3	6.3
	自営（商工サービス業）	75	26.7	22.7	29.3	29.3	14.7	54.7	13.3	4.0
	正社員（従業員50人未満の会社・団体等）	115	23.5	18.3	42.6	40.9	33.0	41.7	6.1	5.2
	正社員（従業員50人以上の会社・団体等）	194	32.5	28.4	37.1	40.2	37.1	46.9	4.1	0.5
	公務員	53	18.9	24.5	30.2	39.6	35.8	13.2	7.5	1.9
	パートタイマー、派遣	11	18.2	9.1	54.5	27.3	18.2	45.5	0.0	0.0
	家内労働	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	学生、無職、失業中	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	11	36.4	18.2	27.3	27.3	0.0	45.5	18.2	9.1
	無回答	15	20.0	33.3	26.7	26.7	6.7	40.0	6.7	6.7

男性の育休取得に期待していない理由は、「収入的に生活が厳しくなるため」が45.7%と最も高く、次いで「男性の職場の制度的に実現が難しいため」38.6%、「男性の職場の人員的に実現が難しいため」38.2%と続いている。

父親の仕事別では、自営（商工サービス業）の「収入的に生活が厳しくなるため」が54.7%と最も高く、次いでパートタイマー、派遣の「男性の職場の制度的に実現が難しいため」54.5%、自営（農林漁業）50.0%と続いている。

### 3 3. 育児の分担状況

	調査数	専ら母親がやる	主に母親がやる	父親と母親で半々	主に父親がやる	専ら父親がやる	その他	無回答
全体	2369	47.1	32.2	15.8	1.0	1.9	1.0	1.0

育児の分担状況は、「専ら母親がやる」が47.1%と最も高く、次いで「主に母親がやる」32.2%、「父親と母親で半々」15.8%と続いている。

### 34. 家事の分担状況

	調査数	専ら母親がやる	主に母親がやる	父親と母親で半々	主に父親がやる	専ら父親がやる	その他	無回答
全体	2369	50.0	29.5	14.3	1.0	2.0	1.9	1.3

家事の分担状況は、「専ら母親がやる」が50.0%と最も高く、次いで「主に母親がやる」29.5%、「父親と母親で半々」14.3%と続いている。

### 35. 育児の分担状況×家事の分担状況

(分布表記)

		育児の分担状況							
		全体	専ら母親がやる	主に母親がやる	父親と母親で半々	主に父親がやる	専ら父親がやる	その他	無回答
家事の分担	全体	100.0	1115	763	375	23	45	24	24
	専ら母親がやる	1184	40.0	8.5	1.1	0.0	0.0	0.1	0.1
	主に母親がやる	698	5.7	18.6	4.9	0.0	0.0	0.1	0.1
	父親と母親で半々	339	0.7	4.1	9.2	0.2	0.1	0.0	0.0
	主に父親がやる	24	0.0	0.3	0.3	0.4	0.1	0.0	0.0
	専ら父親がやる	48	0.0	0.0	0.0	0.3	1.6	0.0	0.0
	その他	45	0.3	0.5	0.3	0.0	0.0	0.8	0.0
	無回答	31	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8

育児の分担状況と家事の分担状況を掛け合わせたところ、育児の分担状況「専ら母親がやる」×家事の分担状況「専ら母親がやる」が40.0%と最も高く、次いで育児の分担状況「主に母親がやる」×家事の分担状況「主に母親がやる」18.6%、育児の分担状況「父親と母親で半々」×家事の分担状況「父親と母親で半々」が9.2%であり、母親が主体となって育児も家事も担っていることがうかがえる。

育児と家事それぞれの「専ら母親がやる」と「主に母親がやる」を合算すると72.8%となり、基本的に母親が担っていることがわかるが、「父親と母親で半々」をみると9.2%であり、約1割が父親も担っていることがうかがえる。

※集計には「父子世帯」「母子世帯」のひとり親家庭も含まれている。

### 36. 父親の育休状況×育児の分担状況

		調査数	専ら母親がやる	主に母親がやる	父親と母親で半々	主に父親がやる	専ら父親がやる	その他	無回答
全体		2166	44.8	34.3	17.2	1.1	2.0	0.3	0.4
父親の育休状況	なし	2004	46.2	34.0	16.4	0.9	1.8	0.2	0.4
	1か月未満	108	28.7	39.8	25.0	0.9	4.6	0.9	0.0
	1か月以上3か月未満	20	20.0	50.0	25.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	3か月以上6か月未満	8	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	6か月以上1年未満	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	8	12.5	12.5	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0
	2年以上3年未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年以上	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	無回答	11	27.3	18.2	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0

父親の育休状況を育児の分担状況別で見ると、「主に母親がやる」×「1か月以上3か月未満」が50.0%と最も高く、次いで「専ら母親がやる」×「なし」が46.2%、「主に母親がやる」×「1か月未満」が39.8%と続いている。

「専ら母親がやる」と「主に母親がやる」を合算すると、「なし」では80.2%、1か月未満では68.5%となり、父親が育児休暇を取得することで母親の担当割合が減っている様子がうかがえる。

### 37. 父親の育休状況×家事の分担状況

		調査数	専ら母親がやる	主に母親がやる	父親と母親で半々	主に父親がやる	専ら父親がやる	その他	無回答
全体		2166	48.6	31.1	15.6	1.1	2.2	0.9	0.6
父親の育休状況	なし	2004	49.7	30.9	15.0	0.8	2.0	0.9	0.6
	1か月未満	108	34.3	35.2	22.2	3.7	3.7	0.9	0.0
	1か月以上3か月未満	20	50.0	15.0	25.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	3か月以上6か月未満	8	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	6か月以上1年未満	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	8	12.5	25.0	37.5	0.0	25.0	0.0	0.0
	2年以上3年未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年以上	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	無回答	11	36.4	36.4	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0

父親の育休状況を家事の分担状況別で見ると、「専ら母親がやる」×「1か月以上3か月未満」が50.0%と最も高く、次いで「専ら母親がやる」×「なし」49.7%、「主に母親がやる」×「1か月未満」35.2%と続いている。

「専ら母親がやる」と「主に母親がやる」を合算すると、なしでは79.7%、1か月未満では69.5%、1か月以上3か月未満では65.0%となり、母親が主体の家事の割合が減っている様子がうかがえる。

### 38. 配偶者以外からの子育て支援

	調査数	定期的に受けている	ときどき受けている	ほとんど受けていない	全く受けていない	無回答
全体	2369	25.2	31.4	18.7	24.2	0.5

配偶者以外からの子育て支援は、「ときどき受けている」が31.4%と最も高く、次いで「定期的に受けている」25.2%、「全く受けていない」24.2%、「ほとんど受けていない」18.7%と続いている。

### 39. 配偶者以外からの子育て支援の内容

	調査数	子どもの相手、預かり	子どもの送り迎え	食料の支援	家事の支援	金銭的なお祝い（誕生日や進級などのお祝いは含めない）	物資のお祝い（誕生日や進級は含めない）	その他	無回答
全体	1785	57.1	44.9	28.7	21.6	15.2	12.2	1.3	5.9

配偶者以外からの子育て支援の内容は、「子どもの相手、預かり」が57.1%と最も高く、次いで「子どもの送り迎え」44.9%、「食料の支援」28.7%と続いている。

市町村別では、富士河口湖町の「子どもの相手、預かり」が70.9%と最も高く、次いで山梨市の「子どもの相手、預かり」70.1%、大月市の「子どもの相手、預かり」64.3%と続いている。

#### 40. 1か月あたりの食費

	調査数	0円	1円以上1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上4万円未満	4万円以上5万円未満	5万円以上6万円未満	6万円以上7万円未満	7万円以上8万円未満	8万円以上9万円未満	9万円以上10万円未満	10万円以上	無回答
全体	2369	0.0	0.1	0.8	5.1	11.3	18.7	17.1	11.9	10.3	8.2	5.1	10.4	0.8

1か月あたりの食費は、「4万円以上5万円未満」が18.7%と最も高く、次いで「5万円以上6万円未満」17.1%、「6万円以上7万円未満」11.9%、「3万円以上4万円未満」11.3%と続いている。

#### 41. 1か月あたりの食費×世帯人数

	調査数	0円	1円以上1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上4万円未満	4万円以上5万円未満	5万円以上6万円未満	6万円以上7万円未満	7万円以上8万円未満	8万円以上9万円未満	9万円以上10万円未満	10万円以上	無回答
全体	2369	0.0	0.1	0.8	5.1	11.3	18.7	17.1	11.9	10.3	8.2	5.1	10.4	0.8
世帯人数	2人	71	0.0	1.4	8.5	21.1	19.7	14.1	5.6	5.6	0.0	1.4	2.8	0.0
	3人	367	0.0	0.3	1.1	10.4	17.7	25.1	14.4	7.1	8.7	6.3	3.8	1.4
	4人	1123	0.0	0.1	0.5	4.5	12.6	19.9	18.3	12.7	10.2	8.1	4.4	8.0
	5人	644	0.0	0.0	0.3	2.3	5.9	15.4	18.0	14.4	11.6	9.3	6.4	16.0
	6人	109	0.0	0.0	1.8	0.0	3.7	7.3	14.7	11.0	8.3	12.8	11.9	24.8
	7人	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	13.0	4.3	21.7	4.3	17.4	26.1
	8人	8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	9人	8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	37.5	0.0	12.5
	10人	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	15	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7	6.7	6.7	20.0	13.3	0.0	20.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

1か月あたりの食費を世帯人数別でみると、2人世帯では「2万円以上3万円未満」21.1%、3人世帯では「4万円以上5万円未満」25.1%、4人世帯では「4万円以上5万円未満」19.9%、5人世帯では「5万円以上6万円未満」18.0%、6人世帯では「10万円以上」24.8%、7人世帯では「10万円以上」26.1%がそれぞれのピークとなった。



#### 46. 子ども・子育てについて社会全体から支えられているかの評価

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体	2369	4.7	5.0	11.2	9.7	26.1	14.2	13.5	10.8	2.0	1.7	1.1	5.2

子ども・子育てについて社会全体から支えられているかの評価は、「5点」が26.1%と最も高く、次いで「6点」14.2%、「7点」13.5%、「3点」11.2%と続いており、平均点は5.2点である。

#### 47. 子ども・子育てについて社会全体から支えられるために必要なこと

	調査数	行政からの十分な支援が感じられる	困ったときに、すぐに助けが得られる	定期的な気にかけてくれる人や存在が	子どもや子育てについて、周りから非難するようない視線を感じない	子どもや子育てを理由に、職場で申し訳なさを感じなくて済む	子どもの存在が利用できない	子どもの存在が理由に特典を得られない	その他	無回答
全体	2303	62.3	39.6	19.7	19.1	52.5	8.3	22.4	2.9	2.8

子ども・子育てについて社会全体から支えられるために必要なことは、「行政からの十分な支援が感じられる」が62.3%と最も高く、次いで「子どもや子育てを理由に、職場で申し訳なさを感じなくて済む」52.5%、「困ったときに、すぐに助けが得られる」39.6%と続いている。

#### 48. 子どもが十分能力を伸ばせる環境かの評価

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体	2369	6.1	4.4	10.5	10.3	26.9	15.0	14.1	8.9	1.3	1.5	1.1	5.1

子どもが十分能力を伸ばせる環境かの評価は、「5点」が26.9%と最も高く、次いで「6点」15.0%、「7点」14.1%と続いており、平均点は5.1点である。

#### 49. 子どもが十分能力を伸ばせる環境に必要なこと

	調査数	子どもが思いきり遊べる公園や広場が充実する	子どもが通える塾や習い事が充実する	行われるようになり、サービスクラスが	保育園や幼稚園、認定こども園などより良い	小学校、中学校でより良い教育が行われるようになり	県内の高校でより良い教育が行われるようになる	県内により多くの進学の選択肢が用意される	それにより、進学の選択肢が用意される	それにより、進学の選択肢が用意される	要配慮児童などについて、増える	地域において子どもが参加できるイベントなどの機会が増える	その他	無回答
全体	2308	39.6	36.1	17.1	54.5	28.6	40.7	15.6	12.9	3.1	2.1			

子どもが十分能力を伸ばせる環境に必要なことは、「小学校、中学校でより良い教育が行われるようになる」が54.5%と最も高く、次いで「県内により多くの進学の選択肢が用意される」40.7%、「子どもが思いきり遊べる公園や広場が充実する」39.6%、「子どもが通える塾や習い事が充実する」36.1%と続いている。

## 50. 子育ての中で感じる楽しさの評価

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体	2369	0.8	0.8	1.7	2.4	13.2	7.9	18.4	24.4	10.3	19.4	0.8	7.4

子育ての中で感じる楽しさの評価は、「8点」が24.4%と最も高く、次いで「10点」19.4%、「7点」18.4%と続いており、平均点は7.4点である。

## 51. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体	2369	4.1	6.6	12.2	6.8	24.9	11.1	13.1	12.4	2.9	5.0	0.9	5.4

子育ての中で感じる負担・辛さの評価は、「5点」が24.9%と最も高く、次いで「7点」13.1%、「8点」12.4%、「3点」12.2%と続いており、平均点は5.4点である。

市町村別に平均点をみると、小菅村と丹波山村で6.0点と最も高いが、最も低い点数でも山中湖村の5.0点であり、市町村ごとに大きな差は見られない。

## 52. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価×多胎児の有無

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点	
全体	2369	4.1	6.6	12.2	6.8	24.9	11.1	13.1	12.4	2.9	5.0	0.9	5.4	
多胎児の有無	いる	75	0.0	6.7	17.3	6.7	24.0	6.7	12.0	12.0	6.7	8.0	0.0	5.7
	いない	2289	4.2	6.6	12.1	6.9	24.9	11.3	13.1	12.4	2.7	4.9	1.0	5.4
	無回答	5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	6.8

子育ての中で感じる負担・辛さの評価を多胎児の有無別にみると、いないの「5点」が24.9%と最も高く、次いで、いるの「5点」24.0%、いるの「3点」が17.3%と続いており、平均点は「いる」5.7点、「いない」5.4点であり、大きな差はみられなかった。

一方で、10点、9点をつけた割合は「いる」が8.0%、6.7%に対して、「いない」が4.9%、2.7%であり、多胎児がいる場合の方が子育ての中で感じる負担・辛さについて強く感じている割合が高くなっている。

### 5 3. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価×要看護・介護者の有無

		調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体		2369	4.1	6.6	12.2	6.8	24.9	11.1	13.1	12.4	2.9	5.0	0.9	5.4
看護・介護者の有無 必要とする方	いる	286	4.5	5.9	12.6	9.8	19.2	11.2	11.9	13.6	3.5	5.9	1.7	5.4
	いない	2060	4.0	6.7	12.2	6.5	25.6	11.1	13.3	12.3	2.8	4.9	0.7	5.4
	無回答	23	4.3	8.7	8.7	0.0	34.8	13.0	8.7	4.3	0.0	4.3	13.0	4.4

子育ての中で感じる負担・辛さの評価を要看護・介護者の有無別にみると、いないの「5点」が25.6%と最も高く、次いでいるの「5点」19.2%、いるの「8点」13.6%、いないの「7点」13.3%と続いており、平均点は「いる」、「いない」共に5.4点である。

### 5 4. 子育ての中で感じる負担・辛さの理由

調査数	子育てで出費がかさみ、生活費が足りないことがある	子育てで出費がかさみ、自分のやりたいことをする余裕がない	自分の自由な時間がとれない	仕事が十分にできない	子どもの看護など発生する理由に急なスケジュール変更が急な	子どもの生活上の世話をする必要があり	子どもの学業に対する面倒をみる必要がある	子どもの社会生活への適応（不登校や友達づきあいなど）に気を配る必要がある	子育てに関して配偶者の協力が少ない	配偶者と子育てに関して意見が合わない	評価	自分の子育てに対する、まわりの見る目や	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	理解してもらえない	子育てに対する自分の負担や辛さを	子どもの他に面倒をみなければならぬ人がいる	子どもにマルトリートメント（不適切な養育）をしてしまう	その他	無回答
全体	2251	38.6	30.7	42.6	15.5	25.1	7.8	16.0	14.8	9.2	4.8	2.9	4.4	5.9	2.0	0.6	3.5	3.9	

子育ての中で感じる負担・辛さの理由は、「自分の自由な時間がとれない」が42.6%と最も高く、次いで「子育てで出費がかさみ、生活費が足りないことがある」38.6%、「子育てで出費がかさみ、自分のやりたいことをする余裕がない」30.7%と続いている。

### 55. 希望時期からの保育園利用状況

	調査数	(希望した時期から利用できた 4月からの利用開始)	(希望した時期から利用できた 4月以外からの利用開始)	利用できなかった	希望して利用を 希望していない	その他	無回答
全体	2369	66.7	14.3	7.3	8.0	1.4	2.3

希望時期からの保育園利用状況は、「希望した時期から利用できた（4月からの利用開始）」が66.7%と最も高く、次いで「希望した時期から利用できた（4月以外からの利用開始）」14.3%、「保育園等の利用を希望していない」8.0%、「希望した時期からは利用できなかった」7.3%である。

### 56. 利用した保育園の希望状況と満足度

	調査数	第1希望に入所できた	第1希望以外 の入所だったが 不満はない	第1希望以外 の入所だったが 不満があった	その他	無回答
全体	1918	91.7	5.6	1.1	1.1	0.4

利用した保育園の希望状況と満足度は、「第1希望に入所できた」が91.7%と最も高く、次いで「第1希望以外の入所だったが不満はない」5.6%と続いている。

## 57. 第一希望以外への入所についての不満

	調査数	第1希望より送迎に不便	第1希望より受け入れ時間が短い	第1希望より保育の内容が劣る	第1希望より保育に係る経費が高い	その他	無回答
全体	22	50.0	4.5	63.6	0.0	13.6	0.0

第一希望以外への入所についての不満は、「第1希望より保育の内容が劣る」が63.6%と最も高く、次いで「第1希望より送迎に不便」50.0%と続いている。

## 58. レスパイトの利用希望×お住いの市町村

	調査数	ぜひ利用したい	利用したいが実際には利用するかわからない	利用したいと思わない	その他	無回答
全体	2369	7.8	24.8	60.1	2.2	5.0

レスパイトの利用希望は、「利用したいと思わない」が60.1%と最も高く、次いで「利用したいが実際に利用するかわからない」24.8%、「ぜひ利用したい」7.8%である。

## 59. レスパイトの利用希望×末子の年齢

		調査数	ぜひ利用したい	利用したいが実際にかからない	利用したいと思わない	その他	無回答
全 体		2369	7.8	24.8	60.1	2.2	5.0
末子の年齢	0歳	36	19.4	27.8	50.0	0.0	2.8
	1歳	32	12.5	31.3	53.1	3.1	0.0
	2歳	59	6.8	35.6	57.6	0.0	0.0
	3歳	65	9.2	21.5	69.2	0.0	0.0
	4歳	77	13.0	23.4	61.0	1.3	1.3
	5歳	87	11.5	29.9	52.9	4.6	1.1
	6歳	170	11.2	25.9	60.6	1.8	0.6
	7歳	183	8.2	25.7	61.7	2.7	1.6
	8歳	174	9.8	24.1	60.9	2.9	2.3
	9歳	162	6.2	30.9	59.3	0.6	3.1
	10歳	172	5.8	22.1	63.4	4.1	4.7
	11歳	156	4.5	16.0	76.3	1.3	1.9
	12歳	164	8.5	28.0	54.9	2.4	6.1
	13歳	153	3.9	23.5	62.1	3.9	6.5
	14歳	158	5.7	23.4	60.1	1.9	8.9
	15歳	158	7.0	17.7	64.6	1.9	8.9
	16歳	118	5.9	28.0	55.1	3.4	7.6
	17歳	106	8.5	26.4	51.9	1.9	11.3
	18歳以上	120	7.5	25.0	50.8	1.7	15.0
	無回答	19	5.3	26.3	42.1	0.0	26.3

レスパイトの利用希望を末子の年齢別に見ても、どの層でも「利用したいと思わない」の割合が最も高くなっているが、末子の年齢が0歳・1歳の世帯では、それ以外の年齢層に比べて利用を希望する割合が高くなっている。

## 60. レスパイトの利用希望（回答別）

### 父親の18時以降の仕事状況×母親の18時以降の仕事状況

#### ●レスパイトの利用希望（利用したい）

（分布表記）

（おあか取て夜 利答れつるか間 用えばてこら勤 しく利くと）務 ただ用れ）時や い。いた保たにス い育め離パ とサ、れイ 思―夜てト うビ間休（ かスも息子 、が預を育		父親の18時以降の仕事								
		全体	ほぼない （10%未満）	（あ ま り な い ） （10%以上 40%未満）	（時 々 あ る ） （40%以上 60%未満）	（か な り あ る ） （60%以上 90%未満）	ほ ぼ あ る （ 9 0 % 以 上 ）	そ の 他	無 回 答	（該 当 し な い ）
母親の18時以降の仕事	全体	100.0	16	20	26	28	63	0	1	31
	ほぼない（10%未満）	83	4.3	7.0	4.9	5.9	17.8	0.0	0.5	4.3
	あまりない（10%以上40%未満）	26	2.2	2.7	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	2.7
	時々ある（40%以上60%未満）	15	0.0	0.5	2.7	0.5	1.1	0.0	0.0	3.2
	かなりある（60%以上90%未満）	24	0.5	0.0	2.7	3.8	4.9	0.0	0.0	1.1
	ほぼある（90%以上）	18	0.0	0.0	0.5	0.5	6.5	0.0	0.0	2.2
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 （該当しない）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
（該当しない）	19	1.6	0.5	1.1	2.2	1.6	0.0	0.0	3.2	

父親と母親の18時以降の出勤状況の掛け合わせをレスパイトの利用希望（利用したい）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」×母親の「ほぼない（10%未満）」が17.8%と最も高く、次いで父親の「あまりない（10%以上40%未満）」×母親の「ほぼない（10%未満）」7.0%、父親の「ほぼある（90%以上）」×母親の「ほぼある（90%以上）」6.5%と続いている。

●レスパイトの利用希望（利用したいが実際に利用するかわからない）

（分布表記）

夜間勤務やレパイト（子育て） 取らざる（おつかい） つかうか 利用する （利用したいが実際に利用するかわからない）		父親の18時以降の仕事								
		全体	ほぼない（10%未満）	あまりない（10%以上40%未満）	時々ある（40%以上60%未満）	かなりある（60%以上90%未満）	ほぼある（90%以上）	その他	無回答	（該当しない）
母親の18時以降の仕事	全体	100.0	58	56	109	105	191	0	2	67
	ほぼない（10%未満）	286	4.9	4.8	9.7	8.8	15.1	0.0	0.2	5.1
	あまりない（10%以上40%未満）	67	1.4	1.7	2.2	1.4	3.6	0.0	0.0	1.2
	時々ある（40%以上60%未満）	72	1.2	1.0	2.7	2.7	3.7	0.0	0.0	0.9
	かなりある（60%以上90%未満）	50	1.4	0.9	1.4	1.9	2.0	0.0	0.0	1.0
	ほぼある（90%以上）	45	0.2	0.7	1.2	1.0	3.4	0.0	0.0	1.2
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答（該当しない）	3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2

父親と母親の18時以降の出勤状況の掛け合わせをレスパイトの利用希望（利用したいが実際に利用するかわからない）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」×母親の「ほぼない（10%未満）」が15.1%と最も高く、次いで父親の「時々ある（40%以上60%未満）」×母親の「ほぼない（10%未満）」9.7%、父親の「かなりある（60%以上90%未満）」×母親の「ほぼない（10%未満）」8.8%と続いている。

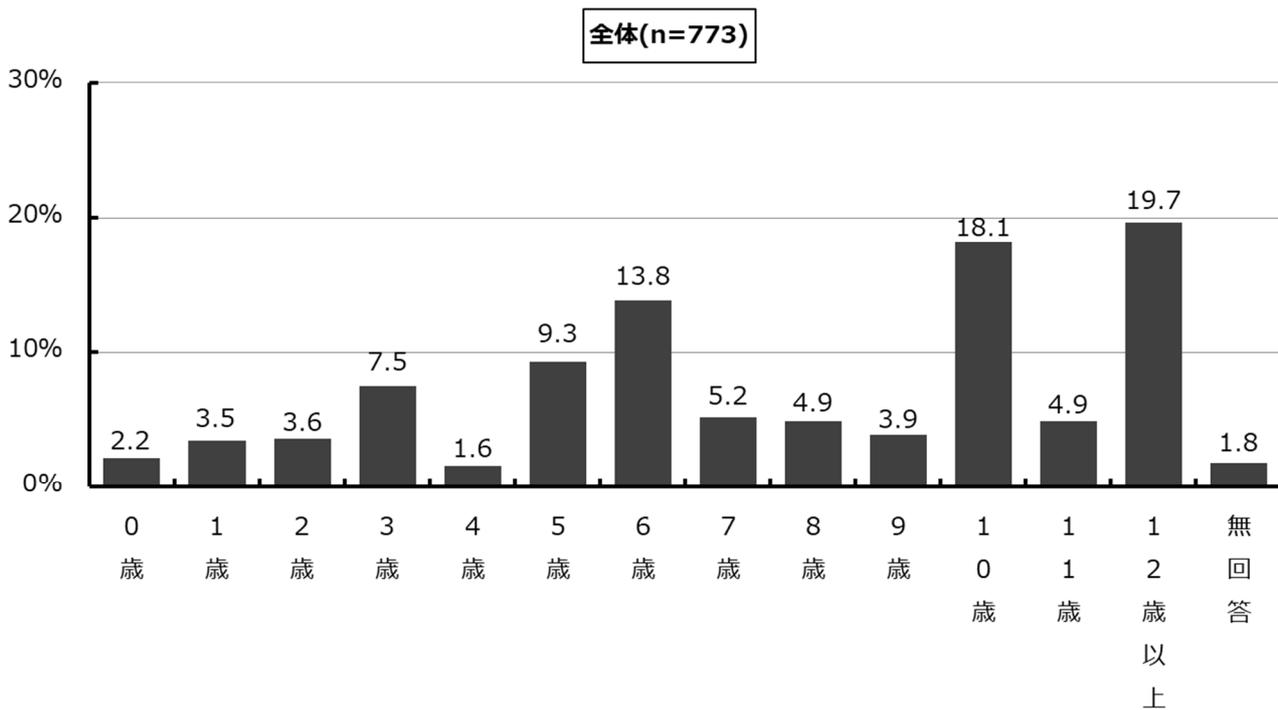
●レスパイトの利用希望（利用したいと思わない）

（分布表記）

（かが預を育 利、あか取て夜 用おれつるか間 し答ばてこら勤 たえ利くと）時や いく用れ）的レ とだしるのにス 思さい保たに離 わいとサ、れイ ない。思―夜、ト うビ間休（ スも息子		父親の18時以降の仕事								
		全体	ほぼない （10%未 満）	（あ ま り な い ） （10% 以 上 40% 未 満）	（時 々 あ る ） （40% 以 上 60% 未 満）	（か な り あ る ） （60% 以 上 90% 未 満）	ほぼある （90% 以 上）	その他	無 回 答	（該 当 し な い）
母 親 の 1 8 時 以 降 の 仕 事	全体	100.0	193	144	251	222	424	0	3	187
	ほぼない（10%未満）	805	9.2	6.3	9.8	9.5	15.3	0.0	0.2	6.2
	あまりない（10%以上40%未満）	100	0.7	1.1	1.5	1.2	2.1	0.0	0.0	0.5
	時々ある（40%以上60%未満）	170	0.8	0.8	2.9	1.8	4.1	0.0	0.0	1.5
	かなりある（60%以上90%未満）	81	0.5	0.6	1.0	1.2	1.5	0.0	0.0	0.9
	ほぼある（90%以上）	81	0.6	0.4	0.4	0.3	3.3	0.0	0.0	0.7
	その他	4	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	（該当しない）	183	1.7	0.8	2.0	1.5	3.5	0.0	0.0	3.4

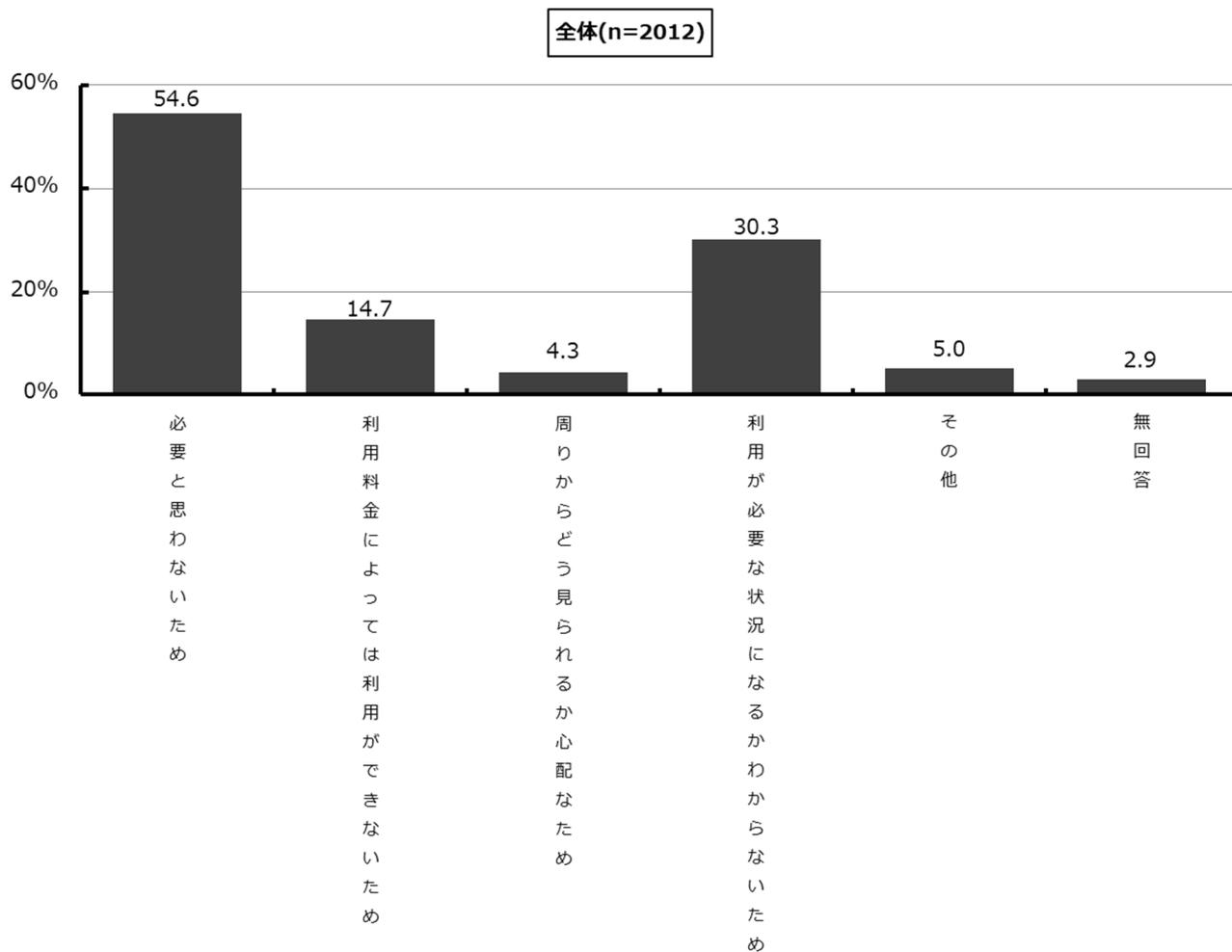
父親と母親の18時以降の出勤状況の掛け合わせをレスパイトの利用希望（利用したいと思わない）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」×母親の「ほぼない（10%未満）」が15.3%と最も高く、次いで父親の「時々ある（40%以上60%未満）」×母親の「ほぼない（10%未満）」9.8%、父親の「かなりある（60%以上90%未満）」×母親の「ほぼない（10%未満）」9.5%と続いている。

## 6 1. レスパイトの利用希望年齢



レスパイトの利用希望年齢は、「12 歳以上」が 19.7%と最も高く、次いで「10 歳」18.1%、「6 歳」13.8%と続いている。

## 6 2 . レスパイトの利用を希望しない理由



レスパイトの利用を希望しない理由は、「必要と思わないため」が 54.6%と最も高く、次いで「利用が必要な状況になるかわからないため」30.3%、「利用料金によっては利用ができないため」14.7%と続いている。

### 63. ベビーシッターの利用希望

	調査数	（ぜひ利用したい）	わからない（利用したかわからない）	利用したい（実際に利用した）	利用したいと思わない	その他	無回答
全体	2369	17.5	27.4	50.5	1.3	3.4	

ベビーシッターの利用希望は、「利用したいと思わない」が50.5%と最も高く、次いで「利用したい（したかった）」が実際に利用するかわからない27.4%、「ぜひ利用したい（したかった）」17.5%と続いている。

### 64. ベビーシッターの利用希望×末子の年齢

	調査数	（ぜひ利用したい）	わからない（実際に利用したかわからない）	利用したい（実際に利用した）	利用したいと思わない	その他	無回答
	2369	17.5	27.4	50.5	1.3	3.4	
末子の年齢	0歳	36	33.3	41.7	22.2	2.8	0.0
	1歳	32	25.0	53.1	21.9	0.0	0.0
	2歳	59	20.3	37.3	40.7	0.0	1.7
	3歳	65	23.1	26.2	47.7	1.5	1.5
	4歳	77	18.2	27.3	54.5	0.0	0.0
	5歳	87	20.7	28.7	47.1	2.3	1.1
	6歳	170	19.4	27.1	52.9	0.6	0.0
	7歳	183	24.0	25.1	49.7	1.1	0.0
	8歳	174	17.2	32.2	47.7	1.1	1.7
	9歳	162	11.7	25.9	58.0	1.2	3.1
	10歳	172	19.2	28.5	47.1	2.3	2.9
	11歳	156	12.2	25.6	60.3	0.6	1.3
	12歳	164	20.7	26.2	48.2	1.8	3.0
	13歳	153	15.0	26.8	54.2	0.7	3.3
	14歳	158	15.8	27.8	48.1	1.9	6.3
	15歳	158	17.1	20.9	55.7	0.6	5.7
	16歳	118	13.6	28.0	51.7	2.5	4.2
	17歳	106	13.2	22.6	48.1	2.8	13.2
	18歳以上	120	12.5	24.2	55.8	0.0	7.5
無回答	19	15.8	26.3	31.6	0.0	26.3	

ベビーシッターの利用希望を末子の年齢別で見たところ、2歳以上の年齢においては全体で見たときと同様に「利用したいと思わない」の割合が最も高くなっているが、末子の年齢が0歳・1歳の世帯では、それ以外の年齢層に比べて利用を希望する割合が高くなっている。

## 65. ベビーシッターの利用希望（回答別）

### 父親の18時以降の仕事状況×母親の18時以降の仕事状況

#### ●レスパイトの利用希望（利用したい（したかった））

（分布表記）

た（い。か用な ）（ぜ。つしどベ ）（ひ。た。たのビ 利用。た。た。サー した。思。も。シ たい。か。し。ス。タ ）（し。た。か。つ。た。さ。た。利。行		父親の18時以降の仕事								
		全体	ほぼない （10%未満）	（あまりない 10%以上 40%未満）	（時々ある 40%以上 60%未満）	（かなりある 60%以上 90%未満）	ほぼある （90%以上）	その他	無回答	（該当しない）
母親の18時以降の仕事	全体	100.0	38	39	80	55	145	0	0	57
	ほぼない（10%未満）	199	4.6	5.1	9.4	7.0	15.9	0.0	0.0	6.0
	あまりない（10%以上40%未満）	40	1.7	1.9	2.9	0.5	1.4	0.0	0.0	1.2
	時々ある（40%以上60%未満）	46	0.5	0.5	2.2	2.4	4.3	0.0	0.0	1.2
	かなりある（60%以上90%未満）	41	1.2	0.2	2.9	1.2	3.4	0.0	0.0	1.0
	ほぼある（90%以上）	32	0.2	1.0	0.7	0.0	5.1	0.0	0.0	0.7
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 （該当しない）	2 54	0.0 1.0	0.0 0.7	0.0 1.2	0.0 2.2	0.2 4.6	0.0 0.0	0.0 0.0	0.2 3.4

父親と母親の18時以降の出勤状況の掛け合わせをベビーシッターの利用希望（利用したい（したかった））に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」に母親の「ほぼない（10%未満）」が15.9%と最も高く、次いで父親の「時々ある（40%以上60%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」9.4%、父親の「かなりある（60%以上90%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」7.0%と続き、「利用したい」と回答した人は父親が18時以降の出勤が多い人に偏っている。

●レスパイトの利用希望（利用したい（したかった）が実際に利用するかわからない）

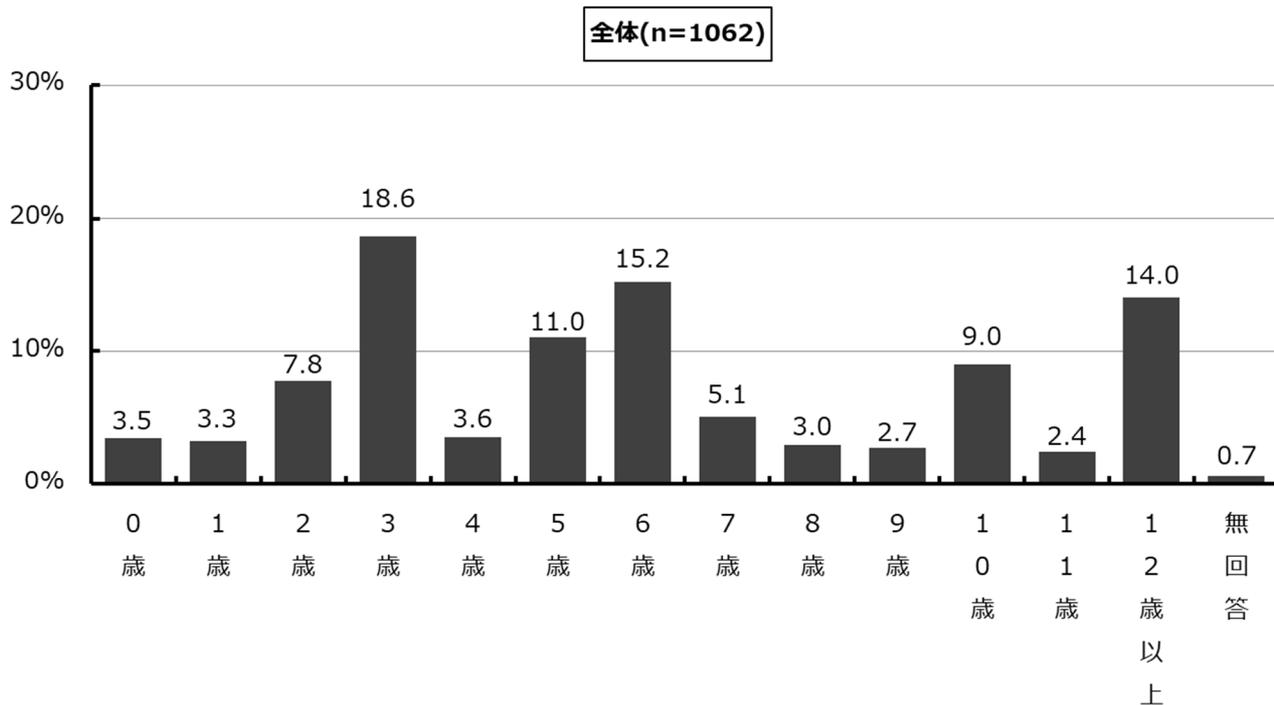
（分布表記）

い（が） （実利 際）に 利用 する か わ か ら な い		父親の18時以降の仕事								
		全 体	ほ ぼ な い （ 1 0 % 未 満 ）	あ ま り な い （ 1 0 % 以 上 4 0 % 未 満 ）	（ 時 々 あ る ） （ 4 0 % 以 上 6 0 % 未 満 ）	（ か な り あ る ） （ 6 0 % 以 上 9 0 % 未 満 ）	ほ ぼ あ る （ 9 0 % 以 上 ）	そ の 他	無 回 答	（ 該 当 し な い ）
母 親 の 1 8 時 以 降 の 仕 事	全体	100.0	66	62	107	128	204	0	3	78
	ほぼない（10%未満）	333	6.0	4.8	8.2	10.6	17.7	0.0	0.3	3.7
	あまりない（10%以上40%未満）	68	0.8	1.9	2.0	1.9	3.1	0.0	0.0	0.9
	時々ある（40%以上60%未満）	77	0.8	1.1	3.1	2.3	2.8	0.0	0.0	1.9
	かなりある（60%以上90%未満）	45	0.8	0.8	1.1	1.4	1.7	0.0	0.0	1.2
	ほぼある（90%以上）	40	0.5	0.5	0.5	1.2	2.5	0.0	0.0	1.1
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 （該当しない）	2 83	0.0 1.4	0.0 0.6	0.0 1.7	0.3 2.0	0.0 3.7	0.0 0.0	0.0 0.2	0.0 3.2

父親と母親の18時以降の出勤状況の掛け合わせをベビーシッターの利用希望（利用したい（したかった）が実際に利用するかわからない）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」に母親の「ほぼない（10%未満）」が17.7%と最も高く、次いで父親の「かなりある（60%以上90%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」10.6%、父親の「時々ある（40%以上60%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」8.2%と続いている。父親の18時以降の出勤が多い人に偏り、「利用したい」とした分布表と似ている。

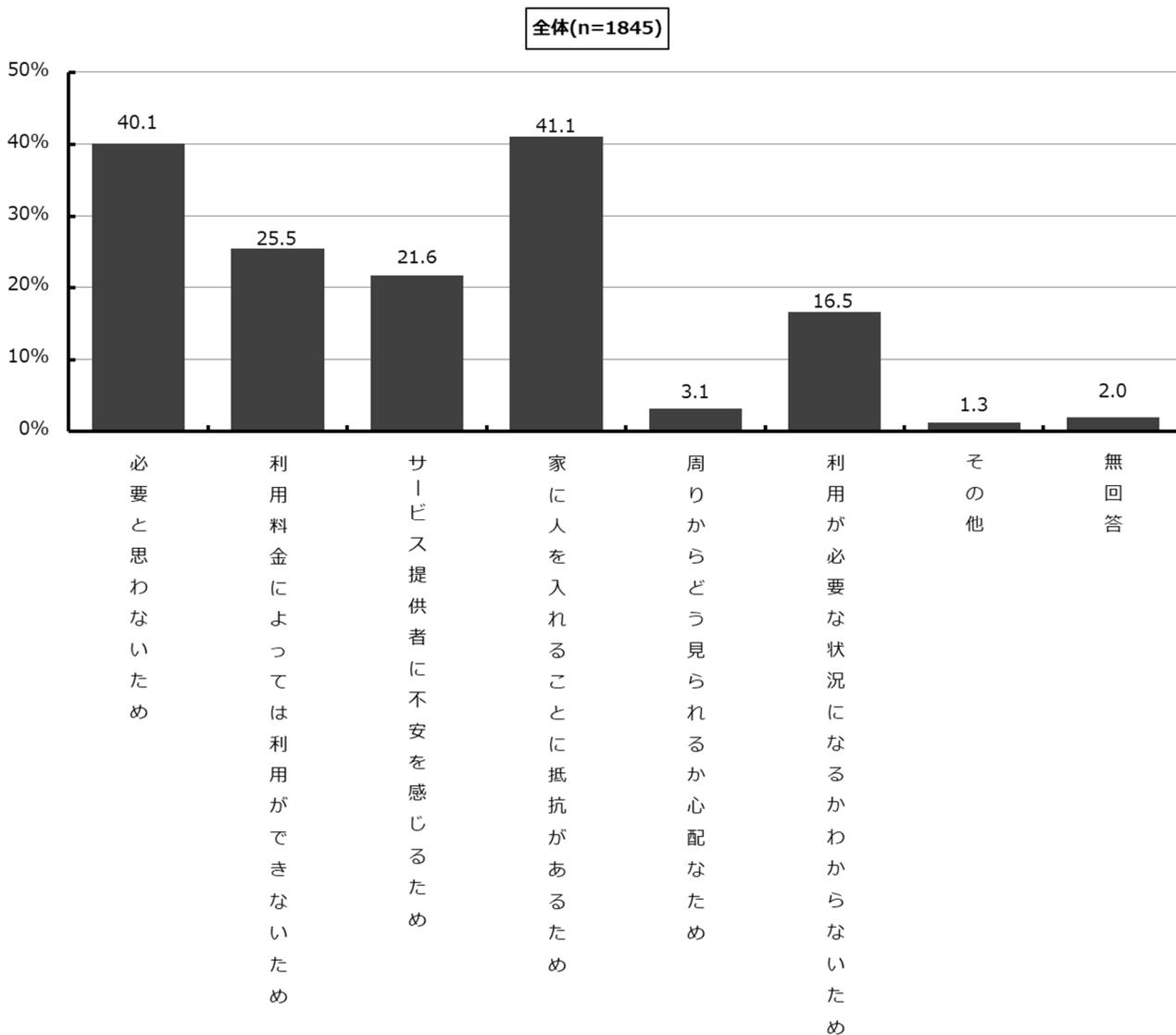


## 66. ベビーシッターの利用希望年齢



ベビーシッターの利用希望年齢は、「3歳」が18.6%と最も高く、次いで「6歳」15.2%、「12歳以上」14.0%と続いている。

## 67. ベビーシッターの利用を希望しない理由



ベビーシッターの利用を希望しない理由は、「家に人を入れることに抵抗があるため」が41.1%と最も高く、次いで「必要と思わないため」40.1%、「利用料金によっては利用ができないため」25.5%と続いている。

## 68. 子育てについて気軽に相談できる相手の有無

	調査数	いる	いない	その他	無回答
全体	2369	84.4	13.2	0.5	1.9

子育てについて気軽に相談できる相手の有無は、「いる」が84.4%、「いない」が13.2%である。

## 69. 子育てについて気軽に相談できる相手

	調査数	配偶者	親	友人	保育園・幼稚園の先生	学校の先生	親族	職場の人	医療機関の人	市町村保健師	子育て支援センター等の人	近所の人	その他	無回答
全体	1999	68.4	67.3	66.6	9.6	19.7	21.1	28.2	4.8	2.6	3.7	4.1	1.6	0.1

子育てについて気軽に相談できる相手は、「配偶者」が68.4%と最も高く、次いで「親」67.3%、「友人」66.6%と続いている。

「市町村保健師」は全体的には低い割合となっているが、早川町、南部町、鳴沢村、小菅村、丹波山村では10%を超える割合から気軽に相談できる相手として認識されている。

## 70. 子どもに体験させてきたもの×世帯の年間所得額

	調査数	定期的なスポーツ、運動系の習い事	定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）	定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）	単発で行う自然体験活動（キャンプ、登山、海水浴など）	単発で行う社会体験活動（ボランティア、職業体験など）	単発で行う文化体験活動（旅行、観劇、地域のお祭りなど）	その他	無回答	
全体	2369	77.6	56.7	54.8	39.5	18.9	52.8	0.8	2.8	
世帯の年間所得額	0円	19	47.4	36.8	42.1	15.8	21.1	31.6	5.3	15.8
	1円以上100万円未満	35	65.7	31.4	45.7	28.6	25.7	42.9	2.9	5.7
	100万円以上200万円未満	74	67.6	31.1	41.9	31.1	16.2	39.2	5.4	4.1
	200万円以上300万円未満	96	65.6	42.7	41.7	31.3	19.8	43.8	2.1	4.2
	300万円以上400万円未満	111	65.8	49.5	32.4	30.6	16.2	55.9	0.9	7.2
	400万円以上500万円未満	223	69.1	49.8	51.6	33.6	16.1	48.0	0.4	4.0
	500万円以上600万円未満	316	75.3	48.4	49.7	35.8	15.8	47.5	0.3	4.4
	600万円以上700万円未満	334	75.1	56.9	48.2	40.4	15.3	53.9	0.6	2.4
	700万円以上800万円未満	293	83.6	62.5	54.6	39.9	20.8	56.0	0.0	1.7
	800万円以上900万円未満	228	80.7	53.9	58.8	34.2	16.7	49.6	0.4	0.4
	900万円以上1000万円未満	173	83.2	64.2	65.9	43.4	19.7	62.4	0.6	1.7
	1000万円以上1100万円未満	179	88.8	74.3	69.3	50.3	22.9	55.9	1.1	0.6
	1100万円以上1200万円未満	103	84.5	67.0	73.8	47.6	26.2	56.3	0.0	0.0
	1200万円以上1300万円未満	36	77.8	75.0	80.6	61.1	16.7	66.7	0.0	0.0
	1300万円以上1400万円未満	44	88.6	72.7	68.2	61.4	29.5	56.8	0.0	0.0
	1400万円以上1500万円未満	19	100.0	89.5	73.7	68.4	36.8	84.2	0.0	0.0
	1500万円以上1600万円未満	14	92.9	100.0	85.7	50.0	35.7	78.6	0.0	0.0
	1600万円以上1700万円未満	6	83.3	50.0	83.3	66.7	33.3	83.3	0.0	0.0
	1700万円以上1800万円未満	4	100.0	75.0	50.0	75.0	50.0	100.0	0.0	0.0
	1800万円以上1900万円未満	4	100.0	100.0	50.0	50.0	0.0	75.0	0.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
2000万円以上	10	100.0	80.0	100.0	80.0	60.0	60.0	10.0	0.0	
無回答	47	74.5	53.2	46.8	38.3	12.8	46.8	2.1	12.8	

子どもに体験させてきたものは、「定期的なスポーツ、運動系の習い事」が77.6%と最も高く、次いで「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」56.7%、「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」54.8%と続いている。

世帯の年間所得額別では、「1400万円以上1500万円未満」の「定期的なスポーツ、運動系の習い事」と「1500万円以上1600万円未満」の「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」が100.0%と最も高く、次いで「1500万円以上1600万円未満」の「定期的なスポーツ、運動系の習い事」92.9%、「1400万円以上1500万円未満」の「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」89.5%と続いている。

上位3位の選択肢「定期的なスポーツ、運動系の習い事」「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」の割合の平均値を算出すると、「600万円以上700万円未満」では60.1%、「900万円以上1000万円未満」では71.1%、「1400万円以上1500万円未満」87.7%となり、所得額が上がるにつれて子どもに体験させた経験が増える傾向にある。

## 7 1. 子どもに体験させてきたもの×世帯構成

	調査数	定期的なスポーツ、運動系の 習い事	定期的な文化的な習い事 (音楽、演芸、語学、習字、 プログラミングなど)	定期的な学習活動(塾、 通信教育、そろばんなど)	単発で行う自然体験活動 (キャンプ、登山、海水浴 など)	単発で行う社会体験活動 (ボランティア、職業体験 など)	単発で行う文化体験活動 (旅行、観劇、地域のお祭り など)	その他	無回答	
全体	2369	77.6	56.7	54.8	39.5	18.9	52.8	0.8	2.8	
世帯構成	父子世帯	33	66.7	24.2	48.5	21.2	9.1	30.3	0.0	9.1
	母子世帯	190	68.9	41.6	47.4	28.9	18.4	43.7	2.1	4.7
	ふたり親世帯	2133	78.5	58.8	55.7	40.9	19.1	54.2	0.7	2.5
	その他	10	70.0	10.0	40.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0
	無回答	3	100.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0

子どもに体験させてきたものを世帯構成別でみると、いずれの世帯も「定期的なスポーツ、運動系の習い事」が最も高く、ふたり親世帯では78.5%である。

上位3位の選択肢「定期的なスポーツ、運動系の習い事」「定期的な文化的な習い事(音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど)」「定期的な学習活動(塾、通信教育、そろばんなど)」の割合の平均値を算出すると、父子世帯では46.5%、母子世帯では52.6%、ふたり親世帯では64.3%となる。

## 72. 子どもに体験させてきたもの×子ども的人数

	調査数	定期的なスポーツ、運動系の習い事	定期的な文化的な習い事 (音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど)	定期的な学習活動(塾、通信教育、そろばんなど)	単発で行う自然体験活動 (キャンプ、登山、海水浴など)	単発で行う社会体験活動 (ボランティア、職業体験など)	単発で行う文化体験活動 (旅行、観劇、地域のお祭りなど)	その他	無回答	
全体	2369	77.6	56.7	54.8	39.5	18.9	52.8	0.8	2.8	
子ども的人数	1人	337	70.0	54.6	52.8	40.4	18.4	57.3	1.8	4.2
	2人	1193	76.3	57.3	55.7	38.7	18.6	52.1	0.7	3.2
	3人	681	82.7	57.9	55.7	40.4	19.5	52.4	0.7	1.6
	4人	111	82.0	55.9	46.8	38.7	18.9	48.6	0.0	2.7
	5人	27	81.5	40.7	48.1	40.7	22.2	48.1	0.0	0.0
	6人	7	100.0	14.3	57.1	42.9	0.0	42.9	0.0	0.0
	7人	9	77.8	77.8	77.8	44.4	33.3	77.8	0.0	0.0
	8人	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答	3	33.3	33.3	66.7	66.7	0.0	66.7	0.0	33.3

子どもに体験させてきたものについては、子ども的人数により大きな差は見えてこない。

### 73. 実現が難しいと思っている体験の有無×世帯の年間所得額

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		2369	59.3	38.3	2.3
世帯の年間所得額	0円	19	52.6	36.8	10.5
	1円以上100万円未満	35	62.9	28.6	8.6
	100万円以上200万円未満	74	60.8	36.5	2.7
	200万円以上300万円未満	96	63.5	32.3	4.2
	300万円以上400万円未満	111	69.4	27.9	2.7
	400万円以上500万円未満	223	61.4	37.7	0.9
	500万円以上600万円未満	316	62.0	35.8	2.2
	600万円以上700万円未満	334	64.7	33.2	2.1
	700万円以上800万円未満	293	50.5	47.1	2.4
	800万円以上900万円未満	228	62.7	36.0	1.3
	900万円以上1000万円未満	173	59.0	39.9	1.2
	1000万円以上1100万円未満	179	53.6	42.5	3.9
	1100万円以上1200万円未満	103	55.3	43.7	1.0
	1200万円以上1300万円未満	36	52.8	47.2	0.0
	1300万円以上1400万円未満	44	47.7	52.3	0.0
	1400万円以上1500万円未満	19	47.4	52.6	0.0
	1500万円以上1600万円未満	14	64.3	35.7	0.0
	1600万円以上1700万円未満	6	66.7	33.3	0.0
	1700万円以上1800万円未満	4	50.0	50.0	0.0
	1800万円以上1900万円未満	4	50.0	50.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	1	100.0	0.0	0.0	
2000万円以上	10	60.0	40.0	0.0	
無回答	47	48.9	40.4	10.6	

実現が難しいと思っている体験の有無は、「ある」が59.3%、「ない」が38.3%である。

世帯の年間所得額別では、「300万円以上400万円未満」の「ある」が69.4%と最も高く、次いで「600万円以上700万円未満」の「ある」64.7%、「1500万円以上1600万円未満」の「ある」64.3%と続いている。

#### 74. 実現が難しいと思っている体験の有無×世帯構成

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		2369	59.3	38.3	2.3
世帯構成	父子世帯	33	57.6	39.4	3.0
	母子世帯	190	59.5	36.8	3.7
	ふたり親世帯	2133	59.5	38.4	2.1
	その他	10	30.0	50.0	20.0
	無回答	3	66.7	33.3	0.0

実現が難しいと思っている体験の有無を世帯構成別で見ると、いずれの世帯も「ある」が最も高く、ふたり親世帯と母子世帯では59.5%である。

#### 75. 実現が難しいと思っている体験の有無×子どもの人数

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		2369	59.3	38.3	2.3
子どもの人数	1人	337	56.7	41.2	2.1
	2人	1193	58.4	38.9	2.7
	3人	681	61.5	36.9	1.6
	4人	111	64.0	34.2	1.8
	5人	27	63.0	33.3	3.7
	6人	7	57.1	42.9	0.0
	7人	9	66.7	33.3	0.0
	8人	1	0.0	0.0	100.0
	無回答	3	33.3	33.3	33.3

実現が難しいと思っている体験の有無を子どもの人数別で見ると、4人「ある」が64.0%と最も高く、次いで5人の「ある」63.0%、3人の「ある」と続いている。

76. 実現が難しいと思っている体験の有無（回答別）  
 父親の土日祝日の仕事×母親の土日祝日の仕事

●実現が難しいと思っている体験の有無（ある）

(分布表記)

(ある) が子どもに体験させたいと思う ことがありませうか。		父親の土日祝日の仕事								
		全体	ほぼない (10%未満)	あまりない (10%以上40%未満)	時々ある (40%以上60%未満)	かなりある (60%以上90%未満)	ほぼある (90%以上)	その他	無回答	(該当しない)
母親の 土日祝日の 仕事	全体	100.0	173	140	243	230	433	0	5	182
	ほぼない (10%未満)	722	7.0	5.4	8.7	9.2	15.1	0.0	0.3	5.5
	あまりない (10%以上40%未満)	128	0.8	1.6	1.6	1.6	2.6	0.0	0.0	0.9
	時々ある (40%以上60%未満)	169	1.1	0.8	2.8	1.9	3.9	0.0	0.0	1.4
	かなりある (60%以上90%未満)	113	0.9	0.6	1.6	1.6	2.1	0.0	0.0	1.3
	ほぼある (90%以上)	97	0.7	0.5	0.6	0.6	3.4	0.0	0.0	1.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 (該当しない)	4	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1

父親と母親の土日祝日の出勤状況の掛け合わせを実現が難しいと思っている体験の有無（ある）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」に母親の「ほぼない（10%未満）」が15.1%と最も高く、次いで父親の「かなりある（60%以上90%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」9.2%、父親の「時々ある（40%以上60%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」8.7%と続いている。母親の土日祝日の出勤状況は「ほぼない」に集中しているが、父親は「時々ある」から「ほぼある」に偏っており、父親の土日祝日の出勤状況に影響される結果となっている。

●実現が難しいと思っている体験の有無（ない）

（分布表記）

（ない） 子どもに体験させたいと思う が、実際に難しいか。		父親の土日祝日の仕事								
		全体	ほぼない （10%未満）	あまりない （10%以上40%未満）	時々ある （40%以上60%未満）	かなりある （60%以上90%未満）	ほぼある （90%以上）	その他	無回答	（該当しない）
母親の 土日祝日の 仕事	全体	100.0	104	91	175	139	273	0	0	126
	ほぼない（10%未満）	498	8.4	6.4	10.7	8.3	15.9	0.0	0.0	5.3
	あまりない（10%以上40%未満）	73	1.1	1.0	2.2	0.8	2.1	0.0	0.0	0.9
	時々ある（40%以上60%未満）	109	0.6	1.3	3.0	2.0	3.3	0.0	0.0	1.9
	かなりある（60%以上90%未満）	57	0.6	0.6	0.9	1.5	1.9	0.0	0.0	0.9
	ほぼある（90%以上）	54	0.1	0.2	0.6	0.4	3.6	0.0	0.0	1.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	（該当しない）	114	0.8	0.6	2.0	2.0	3.3	0.0	0.0	4.0

父親と母親の土日祝日の出勤状況の掛け合わせを実現が難しいと思っている体験の有無（ない）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」に母親の「ほぼない（10%未満）」が15.9%と最も高く、次いで父親の「時々ある（40%以上60%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」10.7%、父親の「ほぼない（10%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」8.4%と続いている。「あり」と回答した人も「なし」と回答した人も母親の土日祝日の出勤状況は共通して「ほぼない」に集中しているが、「なし」と回答した父親の出勤状況は「あり」と回答したときよりも分散している。このことから、「子どもに体験させたいと思うが実現が難しい」の判断は、父親の土日祝日の仕事の影響を与えているとかがえる。

## 77. 実現が難しいと思っている体験×世帯の年間所得額

	調査数	定期的なスポーツ、運動系の 習い事	定期的な文化的な習い事 （音楽、演芸、語学、習字、 プログラミングなど）	定期的な学習活動（塾、 通信教育、そろばんなど）	単発で行う自然体験活動 （キャンプ、登山、海水浴 など）	単発で行う社会体験活動 （ボランティア、職業体験 など）	単発で行う文化体験活動 （旅行、観劇、地域のお祭り など）	その他	無回答	
全体	1406	38.6	34.1	31.7	31.9	29.9	22.2	5.7	3.4	
世帯の年間所得額	0円	10	40.0	10.0	80.0	40.0	20.0	30.0	0.0	0.0
	1円以上100万円未満	22	27.3	27.3	54.5	27.3	9.1	18.2	4.5	4.5
	100万円以上200万円未満	45	44.4	42.2	40.0	35.6	13.3	28.9	0.0	4.4
	200万円以上300万円未満	61	34.4	39.3	39.3	37.7	37.7	27.9	6.6	6.6
	300万円以上400万円未満	77	39.0	44.2	33.8	28.6	31.2	27.3	7.8	3.9
	400万円以上500万円未満	137	46.7	33.6	32.8	28.5	21.9	22.6	3.6	1.5
	500万円以上600万円未満	196	35.7	37.2	33.7	30.6	27.0	21.4	4.1	4.1
	600万円以上700万円未満	216	40.7	32.4	32.9	26.9	30.1	19.0	4.6	1.9
	700万円以上800万円未満	148	38.5	30.4	25.0	31.8	28.4	20.9	5.4	6.1
	800万円以上900万円未満	143	41.3	37.8	30.8	39.2	35.7	27.3	3.5	2.1
	900万円以上1000万円未満	102	35.3	28.4	26.5	37.3	38.2	20.6	7.8	2.9
	1000万円以上1100万円未満	96	24.0	24.0	22.9	33.3	36.5	21.9	10.4	7.3
	1100万円以上1200万円未満	57	49.1	43.9	31.6	33.3	38.6	21.1	5.3	0.0
	1200万円以上1300万円未満	19	52.6	31.6	21.1	15.8	26.3	15.8	10.5	0.0
	1300万円以上1400万円未満	21	38.1	38.1	33.3	28.6	23.8	14.3	9.5	0.0
	1400万円以上1500万円未満	9	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	22.2	33.3	0.0
	1500万円以上1600万円未満	9	11.1	33.3	22.2	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1
	1600万円以上1700万円未満	4	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1700万円以上1800万円未満	2	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	1800万円以上1900万円未満	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2000万円以上	6	50.0	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0	
無回答	23	56.5	39.1	39.1	39.1	39.1	26.1	0.0	0.0	

実現が難しいと思っている体験は、「定期的なスポーツ、運動系の習い事」が38.6%と最も高く、次いで「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」34.1%、「単発で行う自然体験活動（キャンプ、登山、海水浴など）」31.9%と続いている。

世帯の年間所得額別では、「0円」の「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」が80.0%と最も高く、次いで「1円以上100万円未満」の「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」54.5%、「1200万円以上1300万円未満」の「定期的なスポーツ、運動系の習い事」52.6%と続いている。

## 78. 実現が難しいと思っている体験×世帯構成

	調査数	定期的なスポーツ、運動系の 習い事	定期的な文化的な習い事 (音楽、演芸、語学、習字、 プログラミングなど)	定期的な学習活動(塾、 通信教育、そろばんなど)	単発で行う自然体験活動 (キャンプ、登山、海水浴 など)	単発で行う社会体験活動 (ボランティア、職業体験 など)	単発で行う文化体験活動 (旅行、観劇、地域のお祭り など)	その他	無回答	
全体	1406	38.6	34.1	31.7	31.9	29.9	22.2	5.7	3.4	
世帯構成	父子世帯	19	42.1	47.4	42.1	36.8	31.6	21.1	5.3	5.3
	母子世帯	113	40.7	33.6	45.1	38.9	29.2	30.1	1.8	2.7
	ふたり親世帯	1269	38.4	34.0	30.3	31.1	30.1	21.6	6.1	3.5
	その他	3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

実現が難しいと思っている体験を世帯構成別でみると、「父子世帯」の「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」が47.4%と最も高く、次いで「母子世帯」の「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」45.1%、同率で「父子世帯」の「定期的なスポーツ、運動系の習い事」、「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」が42.1%と続いている。

## 79. 実現が難しいと思っている体験×子どもの人数

	調査数	定期的なスポーツ、運動系の習い事	定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）	定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）	単発で行う自然体験活動（キャンプ、登山、海水浴など）	単発で行う社会体験活動（ボランティア、職業体験など）	単発で行う文化体験活動（旅行、観劇、地域のお祭りなど）	その他	無回答	
全体	1406	38.6	34.1	31.7	31.9	29.9	22.2	5.7	3.4	
子どもの人数	1人	191	37.2	36.1	30.4	27.7	29.3	18.8	5.8	2.1
	2人	697	39.6	32.1	30.7	32.4	31.0	22.7	5.7	3.6
	3人	419	36.0	33.7	32.7	33.2	27.9	22.0	5.7	3.8
	4人	71	46.5	42.3	35.2	33.8	31.0	23.9	4.2	4.2
	5人	17	41.2	58.8	47.1	11.8	23.5	41.2	0.0	0.0
	6人	4	50.0	75.0	25.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	7人	6	33.3	50.0	33.3	16.7	50.0	16.7	33.3	0.0
	8人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

子どもに体験させてきたものを子どもの人数別で見ると、5人の「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」が58.8%と最も高く、次いで5人の「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」47.1%、4人「定期的なスポーツ、運動系の習い事」46.5%と続いている。

## 80. 実現が難しいと思っている理由×世帯の年間所得額

	調査数	経済的理由	こどもの時間的理由	親の時間的理由	近くにそうした環境がない	その他	無回答	
全 体	1406	36.3	8.6	25.1	23.7	4.3	2.1	
世帯の年間所得額	0円	10	80.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	1円以上100万円未満	22	63.6	0.0	9.1	18.2	9.1	0.0
	100万円以上200万円未満	45	62.2	6.7	11.1	17.8	0.0	2.2
	200万円以上300万円未満	61	49.2	3.3	23.0	13.1	8.2	3.3
	300万円以上400万円未満	77	49.4	3.9	15.6	26.0	3.9	1.3
	400万円以上500万円未満	137	47.4	8.8	19.0	18.2	3.6	2.9
	500万円以上600万円未満	196	49.5	6.6	18.4	18.9	4.6	2.0
	600万円以上700万円未満	216	34.3	6.0	25.5	26.9	5.1	2.3
	700万円以上800万円未満	148	28.4	7.4	30.4	27.7	2.7	3.4
	800万円以上900万円未満	143	31.5	12.6	29.4	21.0	4.9	0.7
	900万円以上1000万円未満	102	28.4	9.8	35.3	22.5	2.9	1.0
	1000万円以上1100万円未満	96	19.8	16.7	29.2	25.0	5.2	4.2
	1100万円以上1200万円未満	57	19.3	8.8	33.3	31.6	5.3	1.8
	1200万円以上1300万円未満	19	10.5	10.5	47.4	31.6	0.0	0.0
	1300万円以上1400万円未満	21	0.0	9.5	23.8	57.1	9.5	0.0
	1400万円以上1500万円未満	9	11.1	0.0	55.6	33.3	0.0	0.0
	1500万円以上1600万円未満	9	0.0	22.2	22.2	44.4	11.1	0.0
	1600万円以上1700万円未満	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	1700万円以上1800万円未満	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	1800万円以上1900万円未満	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
2000万円以上	6	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0	
無回答	23	26.1	21.7	21.7	30.4	0.0	0.0	

体験の実現が難しいと思っている理由は、「経済的理由」が36.3%と最も高く、次いで「親の時間的理由」25.1%、「近くにそうした環境がない」23.7%と続いている。

世帯所得別では、0円から600万円未満の世帯でおおよそ半数が「経済的理由」を挙げており、また700万円以上から1300万円未満の世帯でおおよそ3割から4割が「親の時間的理由」を挙げている。

## 8 1. 体験の実現が難しいと思っている理由×お住まいの市町村

	調査数	経済的 理由	こども の時間 的理由	親の 時間 的理由	近く にそ うし た環 境が ない	そ 他	無 回 答	
全 体	1406	36.3	8.6	25.1	23.7	4.3	2.1	
市 町 村	甲府市	252	40.9	11.9	26.6	14.7	4.8	1.2
	富士吉田市	68	42.6	5.9	29.4	20.6	1.5	0.0
	都留市	34	29.4	8.8	17.6	35.3	8.8	0.0
	山梨市	46	45.7	8.7	17.4	19.6	8.7	0.0
	大月市	35	37.1	5.7	20.0	34.3	2.9	0.0
	韮崎市	32	31.3	3.1	31.3	28.1	0.0	6.3
	南アルプス市	139	43.9	5.8	24.5	13.7	6.5	5.8
	北杜市	47	29.8	8.5	19.1	36.2	6.4	0.0
	甲斐市	151	41.1	13.9	27.2	11.3	4.6	2.0
	笛吹市	97	46.4	4.1	25.8	20.6	3.1	0.0
	上野原市	28	28.6	3.6	17.9	46.4	0.0	3.6
	甲州市	43	25.6	11.6	20.9	27.9	7.0	7.0
	中央市	32	43.8	15.6	21.9	9.4	0.0	9.4
	市川三郷町	31	41.9	12.9	25.8	16.1	3.2	0.0
	早川町	11	9.1	0.0	27.3	63.6	0.0	0.0
	身延町	39	17.9	5.1	17.9	56.4	0.0	2.6
	南部町	31	32.3	12.9	16.1	25.8	9.7	3.2
	富士川町	31	32.3	3.2	25.8	29.0	3.2	6.5
	昭和町	39	28.2	15.4	23.1	23.1	10.3	0.0
	道志村	24	12.5	8.3	20.8	54.2	4.2	0.0
	西桂町	24	37.5	0.0	33.3	29.2	0.0	0.0
	忍野村	35	34.3	11.4	20.0	31.4	2.9	0.0
	山中湖村	34	17.6	2.9	38.2	35.3	5.9	0.0
鳴沢村	30	33.3	6.7	30.0	23.3	0.0	6.7	
富士河口湖町	45	28.9	6.7	37.8	24.4	2.2	0.0	
小菅村	15	6.7	0.0	40.0	53.3	0.0	0.0	
丹波山村	10	10.0	0.0	0.0	90.0	0.0	0.0	
無回答	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	

体験の実現が難しいと思っている理由を市町村別でみると、丹波山村の「近くにそうした環境がない」が90.0%と最も高く、次いで早川町の「近くにそうした環境がない」63.6%、身延町の「近くにそうした環境がない」56.4%、道志村の「近くにそうした環境がない」54.2%と続いている。

## 8 2. 希望する子供の最終学歴×世帯の年間所得額

	調査数	中学	高校	短大、 専門学校、 高等専門学校	大学	大学院	無回答	
全体	2369	0.4	7.9	14.6	70.5	3.5	3.1	
世帯の 年間所得額	0円	19	0.0	10.5	21.1	57.9	0.0	10.5
	1円以上100万円未満	35	0.0	22.9	22.9	40.0	5.7	8.6
	100万円以上200万円未満	74	1.4	18.9	29.7	43.2	1.4	5.4
	200万円以上300万円未満	96	1.0	14.6	15.6	63.5	1.0	4.2
	300万円以上400万円未満	111	0.9	14.4	15.3	62.2	1.8	5.4
	400万円以上500万円未満	223	1.3	11.2	18.4	67.3	0.9	0.9
	500万円以上600万円未満	316	0.3	7.9	20.3	67.1	1.9	2.5
	600万円以上700万円未満	334	0.0	8.7	16.8	70.4	1.5	2.7
	700万円以上800万円未満	293	0.3	8.5	13.0	72.7	3.1	2.4
	800万円以上900万円未満	228	0.4	4.8	13.6	74.1	4.4	2.6
	900万円以上1000万円未満	173	0.0	2.9	13.3	78.6	3.5	1.7
	1000万円以上1100万円未満	179	0.6	1.7	5.6	77.1	8.9	6.1
	1100万円以上1200万円未満	103	0.0	1.9	10.7	80.6	4.9	1.9
	1200万円以上1300万円未満	36	0.0	0.0	0.0	97.2	0.0	2.8
	1300万円以上1400万円未満	44	0.0	4.5	4.5	77.3	13.6	0.0
	1400万円以上1500万円未満	19	0.0	5.3	0.0	89.5	5.3	0.0
	1500万円以上1600万円未満	14	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0
	1600万円以上1700万円未満	6	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0
	1700万円以上1800万円未満	4	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
1800万円以上1900万円未満	4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
1900万円以上2000万円未満	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
2000万円以上	10	0.0	0.0	0.0	70.0	30.0	0.0	
無回答	47	0.0	12.8	10.6	61.7	4.3	10.6	

希望する子供の最終学歴は、「大学」が70.5%と最も高く、次いで「短大、専門学校、高等専門学校」14.6%、「高校」7.9%と続いている。

世帯の年間所得額別では、どの所得額でも「大学」が最も高いが、世帯の年間所得額が下がるにつれて「短大、専門学校、高等専門学校」や「高校」とする割合も増えている。

### 83. 希望する子供の最終学歴×子どもの人数

		調査数	中学	高校	短大、 専門学校、 高等専門学校	大学	大学院	無回答
全 体		2369	0.4	7.9	14.6	70.5	3.5	3.1
子 ど も の 人 数	1人	337	0.9	7.7	17.5	67.4	3.9	2.7
	2人	1193	0.4	7.1	13.6	71.4	4.2	3.3
	3人	681	0.1	7.6	14.0	73.6	2.3	2.3
	4人	111	0.9	15.3	20.7	55.0	2.7	5.4
	5人	27	0.0	22.2	25.9	48.1	0.0	3.7
	6人	7	0.0	28.6	0.0	71.4	0.0	0.0
	7人	9	0.0	0.0	11.1	88.9	0.0	0.0
	8人	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3

希望する子供の最終学歴を子どもの人数別で見ると、どの人数においても「大学」が最も高いが、子どもの人数が4人になると、希望する子どもの学歴を「高校」とする割合が大きく増えている。

#### 84. 子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無×世帯の年間所得額

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		2369	76.5	20.6	3.0
世帯の年間所得額	0円	19	68.4	21.1	10.5
	1円以上100万円未満	35	60.0	31.4	8.6
	100万円以上200万円未満	74	75.7	20.3	4.1
	200万円以上300万円未満	96	76.0	18.8	5.2
	300万円以上400万円未満	111	81.1	14.4	4.5
	400万円以上500万円未満	223	75.8	23.3	0.9
	500万円以上600万円未満	316	79.7	17.7	2.5
	600万円以上700万円未満	334	80.5	17.1	2.4
	700万円以上800万円未満	293	74.1	22.5	3.4
	800万円以上900万円未満	228	84.2	14.5	1.3
	900万円以上1000万円未満	173	79.2	19.1	1.7
	1000万円以上1100万円未満	179	72.1	22.9	5.0
	1100万円以上1200万円未満	103	67.0	31.1	1.9
	1200万円以上1300万円未満	36	83.3	16.7	0.0
	1300万円以上1400万円未満	44	65.9	34.1	0.0
	1400万円以上1500万円未満	19	63.2	36.8	0.0
	1500万円以上1600万円未満	14	50.0	50.0	0.0
	1600万円以上1700万円未満	6	50.0	50.0	0.0
	1700万円以上1800万円未満	4	75.0	25.0	0.0
	1800万円以上1900万円未満	4	50.0	50.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	1	0.0	100.0	0.0	
2000万円以上	10	70.0	30.0	0.0	
無回答	47	68.1	17.0	14.9	

子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無は、「ある」が76.5%、「ない」が20.6%である。世帯の年間所得額別では、「800万円以上900万円未満」の「ある」が84.2%と最も高く、次いで「1200万円以上1300万円未満」の「ある」83.3%、「300万円以上400万円未満」の「ある」81.1%と続いている。

### 85. 子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無×子どもの人数

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		2369	76.5	20.6	3.0
子 ど も の 人 数	1人	337	70.0	27.6	2.4
	2人	1193	76.3	20.5	3.3
	3人	681	80.3	17.5	2.2
	4人	111	74.8	20.7	4.5
	5人	27	85.2	11.1	3.7
	6人	7	71.4	28.6	0.0
	7人	9	77.8	22.2	0.0
	8人	1	0.0	0.0	100.0
	無回答	3	33.3	33.3	33.3

子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無を子どもの人数別で見ると、どの人数においても「ある」が高く、その中でも、5人の「ある」が85.2%と最も高く、次いで3人の「ある」80.3%、2人の「ある」76.3%と続いている。

## 86. 子供の希望最終学歴を実現するための課題×世帯の年間所得額

	調査数	受験もしくは入学資金	学費	就学中の生活費	入学するための学力	その他	無回答	
全体	1812	53.0	80.6	52.0	51.3	2.2	0.4	
世帯の年間所得額	0円	13	76.9	84.6	38.5	38.5	0.0	0.0
	1円以上100万円未満	21	57.1	81.0	57.1	47.6	9.5	0.0
	100万円以上200万円未満	56	67.9	87.5	57.1	55.4	1.8	0.0
	200万円以上300万円未満	73	67.1	87.7	58.9	52.1	4.1	0.0
	300万円以上400万円未満	90	63.3	86.7	50.0	41.1	4.4	0.0
	400万円以上500万円未満	169	57.4	85.8	59.8	47.3	2.4	0.6
	500万円以上600万円未満	252	59.1	81.7	51.2	50.4	0.8	0.4
	600万円以上700万円未満	269	56.1	85.5	62.1	49.1	1.5	0.7
	700万円以上800万円未満	217	54.4	83.4	52.1	47.5	2.3	0.5
	800万円以上900万円未満	192	49.5	81.3	49.0	49.5	1.6	0.5
	900万円以上1000万円未満	137	44.5	80.3	44.5	54.0	0.0	0.0
	1000万円以上1100万円未満	129	38.0	69.8	45.7	60.5	3.9	0.0
	1100万円以上1200万円未満	69	42.0	60.9	42.0	66.7	4.3	0.0
	1200万円以上1300万円未満	30	40.0	66.7	36.7	63.3	0.0	0.0
	1300万円以上1400万円未満	29	34.5	65.5	51.7	75.9	0.0	0.0
	1400万円以上1500万円未満	12	33.3	58.3	25.0	41.7	8.3	8.3
	1500万円以上1600万円未満	7	14.3	42.9	28.6	71.4	0.0	14.3
	1600万円以上1700万円未満	3	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	1700万円以上1800万円未満	3	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	1800万円以上1900万円未満	2	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2000万円以上	7	28.6	42.9	42.9	71.4	28.6	0.0	
無回答	32	43.8	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0	

子供の希望最終学歴を実現するための課題は、「学費」が80.6%と最も高く、次いで「受験もしくは入学資金」53.0%、「就学中の生活費」52.0%、「入学するための学力」51.3%である。

世帯の年間所得額別では、「学費」が上位を占めており、その中でも、「200万円以上300万円未満」が87.7%と最も高く、次いで「100万円以上200万円未満」87.5%、「300万円以上400万円未満」86.7%と続いている。

## 87. 子供の希望最終学歴を実現するための課題×子ども的人数

	調査数	受験もしくは入学資金	学費	就学中の生活費	入学するための学力	その他	無回答	
全体	1812	53.0	80.6	52.0	51.3	2.2	0.4	
子ども的人数	1人	236	46.6	75.0	44.5	52.1	3.8	1.7
	2人	910	51.4	79.3	51.0	53.3	2.0	0.3
	3人	547	55.2	83.7	55.2	48.3	1.6	0.0
	4人	83	65.1	85.5	56.6	45.8	2.4	1.2
	5人	23	82.6	95.7	73.9	60.9	0.0	0.0
	6人	5	20.0	60.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	7人	7	71.4	100.0	71.4	57.1	14.3	0.0
	8人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

子供の希望最終学歴を実現するための課題を子ども的人数別でみると、5人の「学費」が95.7%と最も高く、次いで4人の「学費」85.5%、3人の「学費」83.7%と続いている。

## 88. 知っている公的支援制度

調査数	2369
就学援助制度	58.5
高等学校等奨学給付金	51.6
高等学校等入学準備サポート	25.7
生活保護	71.6
生活福祉資金貸付金	10.1
母子父子寡婦福祉資金貸付金	15.6
スクールソーシャルワーカー活用事業	8.7
放課後子ども教室	26.1
放課後児童クラブ	72.1
地域子育て支援拠点	11.4
一時預かり	28.4
ファミリーサポートセンター	44.3
産前産後ケアセンター	45.5
ひとり親家庭等日常生活支援事業	13.8
ひとり親家庭医療費助成事業	25.9
母子父子家庭自立支援給付金	10.7
ひとり親家庭高等職業訓練	6.4
母子家庭等就業・	5.6
チャレンジマザー就職支援	2.1
自立支援員によるひとり親	3.8
自立相談支援事業	5.5
その他	0.4
無回答	5.2

知っている公的支援制度は、「放課後児童クラブ」が72.1%と最も高く、次いで「生活保護」71.6%、「就学援助制度」58.5%と続いている。

## 89. 使ったことのある公的支援制度

就学援助制度	9.5
高等学校等奨学給付金	11.3
高等学校等入学準備サポート	3.0
生活保護	0.8
生活福祉資金貸付金	0.6
母子父子寡婦福祉資金貸付金	0.3
スクールソーシャルワーカー活用事業	1.0
放課後子ども教室	4.3
放課後児童クラブ	38.4
地域子育て支援拠点	2.9
一時預かり	5.1
ファミリーサポートセンター	6.4
産前産後ケアセンター	1.4
ひとり親家庭等日常生活支援事業	0.7
ひとり親家庭医療費助成事業	5.3
母子父子家庭自立支援給付金	0.5
ひとり親家庭高等職業訓練	0.5
母子家庭等就業・	0.3
チャレンジマザー就職支援	0.2
自立支援員によるひとり親	0.3
自立相談支援事業	0.4
その他	0.7
無回答	41.5

使ったことのある公的支援制度は、「放課後児童クラブ」が38.4%と最も高く、次いで「高等学校等奨学給付金」11.3%、「就学援助制度」9.5%と続いている。

## 90. 使ったことのある公的支援制度の満足度

	調査数	に全 満 足 し た	サ ー ビ ス が あ る	に全 不 満 を 感 じ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1387	68.9	22.7	1.7	1.9	4.8

使ったことのある公的支援制度の満足度は、「全てのサービスに満足した」が68.9%と最も高く、次いで「不満を感じたサービスがある」22.7%と続いている。

## 91. 不満を感じた公的支援制度

調査数	339
就学援助制度	9.7
高等学校等奨学給付金	10.0
高等学校等入学準備サポート	3.5
生活保護	3.5
生活福祉資金貸付金	1.2
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.2
スクールソーシャルワーカー活用事業	1.5
放課後子ども教室	2.4
放課後児童クラブ	61.4
地域子育て支援拠点	1.2
一時預かり	7.1
ファミリーサポートセンター	9.7
産前産後ケアセンター	0.3
ひとり親家庭等日常生活支援事業	0.9
ひとり親家庭医療費助成事業	4.4
母子父子家庭自立支援給付金	1.2
ひとり親家庭高等職業訓練	0.6
母子家庭等就業・	0.6
チャレンジマザー就職支援	0.3
自立支援員によるひとり親	0.3
自立相談支援事業	0.6
その他	0.3
無回答	3.2

不満を感じた公的支援制度は、「放課後児童クラブ」が61.4%と最も高く、次いで「高等学校等奨学給付金」10.0%、「就学援助制度」、「ファミリーサポートセンター」が同率で9.7%と続いている。

市町村別では、「放課後児童クラブ」が上位を占めており、その中でも、南アルプス市の78.4%が最も高く、次いで北杜市の75.0%、甲州市の70.0%続いている。

以上

